［操作手順＆取扱説明書］

身体科におけるうつスクリーニング検査
＆研修・臨床研究ソフト

身体疾患患者精神的支援ストラテジー

単独版うつスクリーニング

うつスクリーニング質問票印刷

NOVA 出版

目次

はじめに …… 5

本書の読み方

マークについて…… 6

補足…… 6

表記について…… 6

●身体疾患患者精神的支援ストラテジー

使用環境 ……6

インストール ……6

ソフトウェアを起動する ……9

基本設定

⑴ 病院名登録 ……10

⑵ 担当者名登録 ……11

⑶ 疾患名登録 ……11

⑷ 薬剤名登録 ……12

⑸ ログイン ID 登録……13

基本情報（患者様）の登録

基本情報（患者様）登録（左）……14

基本情報（患者様）登録（右）……15

次回検査日設定……17

うつスクリーニング検査

PHQ-2(Patient Health Questionnaire-2) 日本語版 (2013 NCNP 版)……17

PHQ-2(Patient Health Questionnaire-2) 日本語版 (2013 NCNP 版) 検査結果 ……18

PHQ-9(Patient Health Questionnaire-9) 日本語版 (2013 NCNP 版)……19

PHQ-9(Patient Health Questionnaire-9) 日本語版 (2013 NCNP 版) 検査結果 ……20

登録患者様表示画面、検査履歴、検査対象者リスト印刷、
編集、一覧印刷、データ削除・インポート、診療情報提供書作成

⑴ 登録患者様表示画面 ……21

⑵ 検査履歴 ……22

⑶ 検査対象者リスト印刷（未検査の患者様のリストを表示）……23

⑷ 編集　基本情報（患者様）登録の追加・修正・削除 ……23

⑸ 一覧印刷 ……26
⑹ データ削除・インポート ……26
患者データの削除……26
検査データの削除……27
インポート・単独版うつスクリーニングソフト……27
⑺ 診療情報提供書作成 ……30
臨床研究
患者データ……31
検査データ……32
検索……34

●単独版うつスクリーニングソフト
使用環境……42
インストール……42
ソフトウェアを起動する……44
テスト内容の設定とテストの開始……45
スクリーニングテストのながれ……47
テストを終了する……48
テスト結果データを Excel に取り込む……48

●うつスクリーニング質問票印刷
使用環境……50
インストール……50
ソフトウェアを起動する……53
印刷する……53

略称について

Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版や Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を Windows XP と表記しています。

Microsoft® Excel® を Excel と表記しています。

商標について

Microsoft、Windows、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することを禁じます。

② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

はじめに

本書は、パソコン及びソフトウェアに詳しくない方々にもご活用していただくために、操作手順を中心に解説した説明書です。

ソフトの CD 構成は、身体疾患患者精神的支援ストラテジーソフトウェア（以下、本ソフトウェア）のほか、うつスクリーニング検査のみを実施するためのソフトウェアとして単独版うつスクリーニング、うつスクリーニング質問票が印刷できる印刷用ソフトウェアの３ソフトで構成されています。

単独版うつスクリーニングは、本ソフトウェアで活用できるように、本ソフトウェアのデータ削除・インポート項目としてご用意しております。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な説明もしてありますので、読み終わったあとも必ず保管しておいてください。

各ソフトのインストールについて

本ソフトウェア、単独版うつスクリーニング、うつスクリーニング質問票印刷の各ソフトは用途に応じて、個別にインストールできます。本ソフトウェアと単独版うつスクリーニングのインストールには、別紙に記載されているシリアル番号が必要となります。1 台のパソコンにつき､1 つのシリアル番号をお使いください（1 台のパソコンに本ソフトウェアと単独版うつスクリーニングをインストールする場合、同じシリアル番号をお使いください)。

1. CDを挿入しCDを開きます

マイコンピューターのリムーバブル記憶域のあるデバイスの CD を選択し、右クリックから「開く」を選択します。

2.インストールしたいソフトのフォルダを開き、各「setup.exe」をダブルクリックします

CD を開くと、ソフトごとに３つのフォルダがあります。インストールしたいソフトのフォルダをダブルクリックで開き、なかにある各「setup.exe」をダブルクリックしてください。

本書の読み方

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取扱い上の制限・注意などの説明に下記のマークをつけています。

補足

操作の参考となることや補足説明が書かれています。

表記について

- 画面に表示されるラベル、ファイル名、コマンド名などは [ ]（ブランケット）囲みになっています。
- メニュー名（コマンド名）については、連続操作のときに次のような表記をしている場合があります。（例）[編集] メニュー→ [文字登録] : [編集] メニューの [文字登録] を選択する。
- 本書では Windows XP、Microsoft Excel 2003 の画面を用いて説明しています。他のバージョンの OS、Microsoft Excel をご使用の場合は、画面が異なることがあります。

●身体疾患患者精神的支援ストラテジー

使用環境

本ソフトウェアを使用するためには以下の環境が必要です。

OS	Windows XP ServicePack 3 以上 Windows Vista Windows 7
Office	Office 2000 以上
容量	ハードディスクの空き容量：　100 MB 以上 メモリー：256 MB

インストール

次の手順でソフトウェアをインストールしてください。

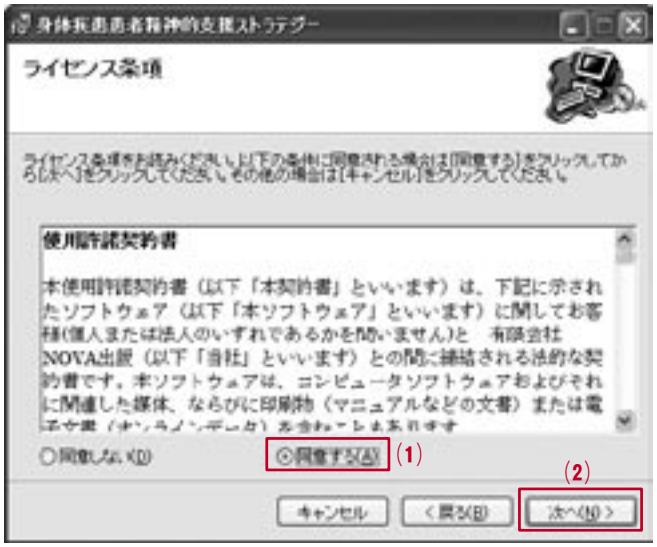
1. CD内の「身体疾患患者精神的支援ストラテジー」フォルダを開き、なかにある「身体疾患患者精神的支援ストラテジーsetup.exe」をダブルクリックします

補足１：環境によっては「.NET Framework3.5」のインストールを求められる場合があります。表示されるウィンドウのメッセージにしたがってインストールを行ってください。

補足２：管理者権限がないとインストールが実行できない場合があります。

2. 身体疾患患者精神的支援ストラテジーセットアップ ウィザード

(1) 次へをクリック

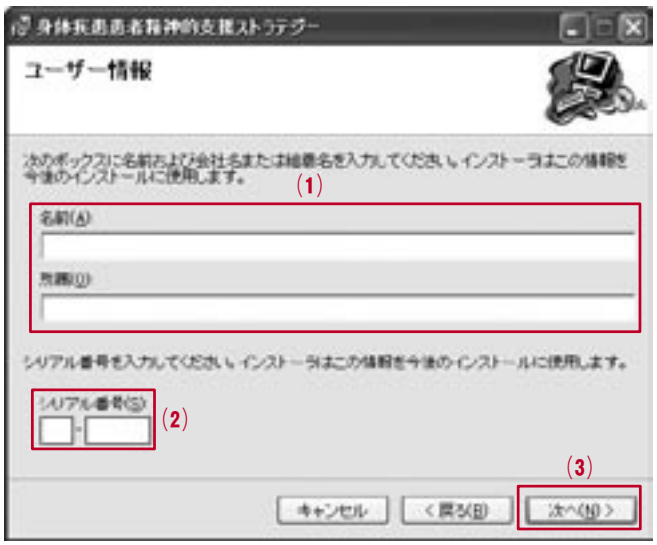


3. ライセンス条項

使用許諾契約書をお読みいただいた上で

(1) 同意するにチェック

(2) 次へをクリック



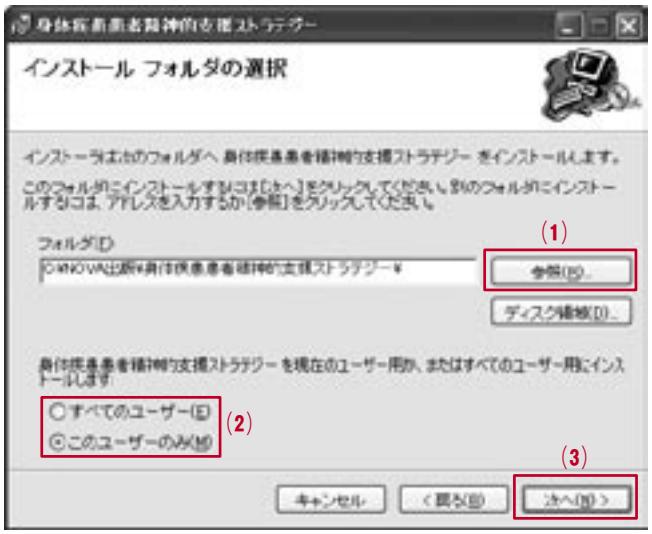
4. ユーザー情報

(1)「名前」「所属」を入力（任意）

(2) シリアル番号を入力

（シリアル番号は、本文はさみ込み別紙「シリアル番号」に記載されています）

(3) 次へをクリック



5. インストール フォルダの選択

(1) 変更する場合は、参照をクリック

(2) 対象ユーザーを指定

お一人で同ソフトを管理する際は、「このユーザーのみ」をチェックしてください。それ以外は「すべてのユーザー」をチェックしてください。

(3) 次へをクリック

補足：初期設定でのインストールする場所はＣドライブ直下の「NOVA 出版」フォルダー内、「身体疾患患者精神的支援ストラテジー」フォルダになっています。

6. インストールの確認

(1) 次へをクリック

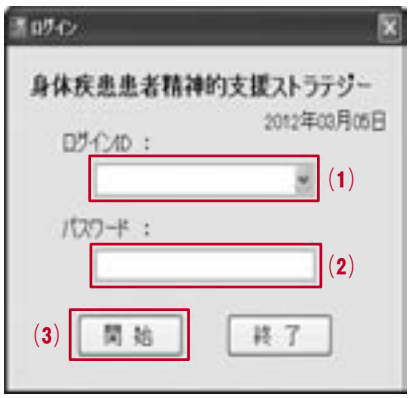
7. インストールが完了しました

(1) 閉じるをクリック

ソフトウェアを起動する

1. デスクトップ上の「身体疾患患者精神的支援ストラテジー」アイコン をダブルクリック

補足：アイコンがみつからない際は、スタートメニューから「すべてのプログラム（P）」→「NOVA出版」→「身体疾患患者精神的支援ストラテジー」の順に選択してください。



2. ログイン

初期設定では、ログイン ID「管理者」、パスワード「123」が設定されています。

(1) ▼をクリックしてログイン ID「管理者」を選択

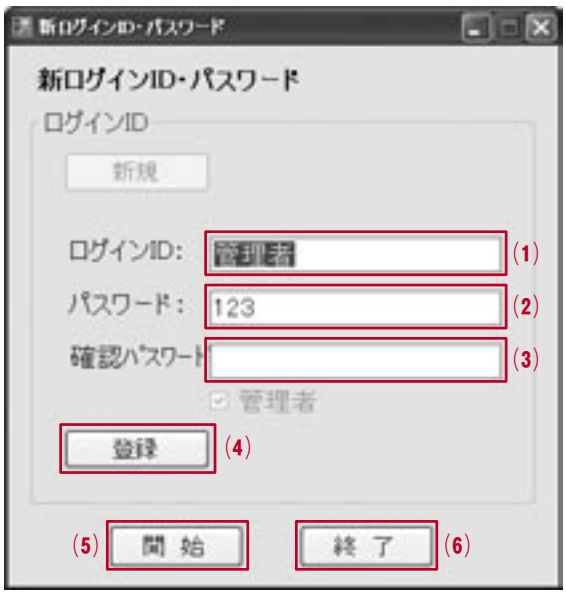
(2) パスワード「123」を入力

(3) 開始をクリック

補足：使用する管理者の新規登録をお勧めします。

3. ログインID、パスワード変更メッセージ

(1) OK をクリック



4. 新ログインID、パスワードの登録

(1) ログイン ID を入力

(2) パスワードを入力

(3) 確認のためのパスワードを再入力

(4) 登録をクリック

(5) 開始をクリック

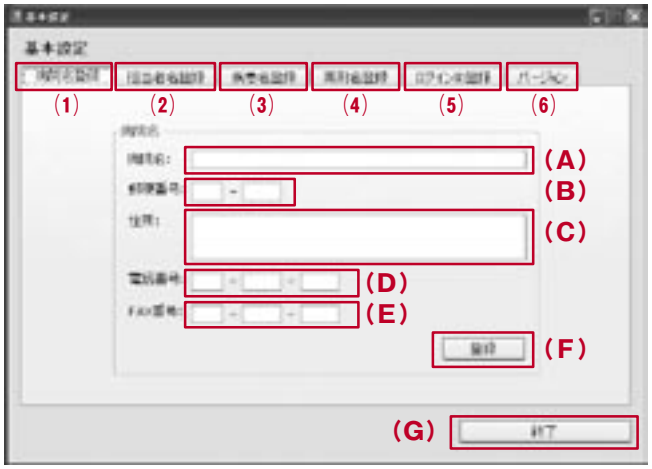
補足１：初期設定を変更しない場合は、ログイン ID、パスワードはそのままで開始をクリックすると弊社初期設定が管理者のログイン ID、パスワードとして登録されます。終了をクリックするとプログラムを終了します。

(6) 終了をクリック、メインウィンドウが表示されます

補足２：その他ユーザーが、初めて同ソフトを使用するためには、管理者のログイン ID、パスワードからログインし、基本設定からユーザー登録することが必要です。次回からは、ログイン ID のプルダウンから選択してログインができます。

基本設定

(1) 基本設定をクリック



(1) 病院名登録

（A）病院名を入力

（B）郵便番号を入力

（C）住所を入力

（D）電話番号を入力

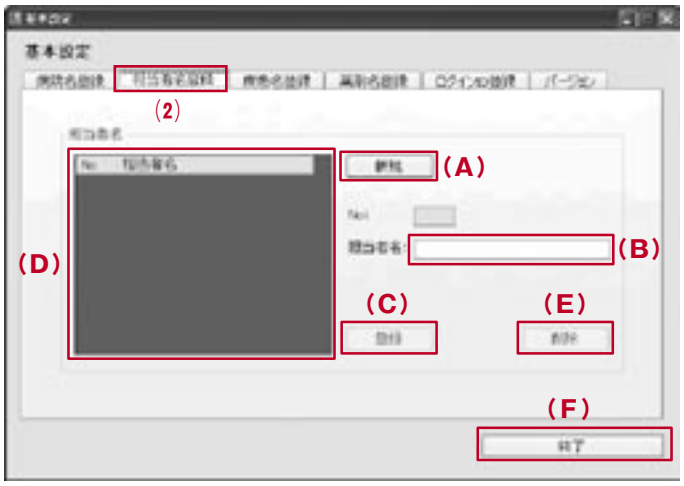
（E）FAX 番号を入力

（F）登録をクリック

（G）終了をクリック

終了をクリックするとメインウィンドウに戻ります。基本設定を続ける際は、終了をクリックしないで(2)をクリックしてください。

補足：登録前、登録後の修正とも、修正個所をクリックして修正してください。



(2) 担当者名登録

（A）新規をクリック

（B）担当者名を入力

（C）登録をクリック

（D）登録後の担当者名表示画面

（E）削除をクリック

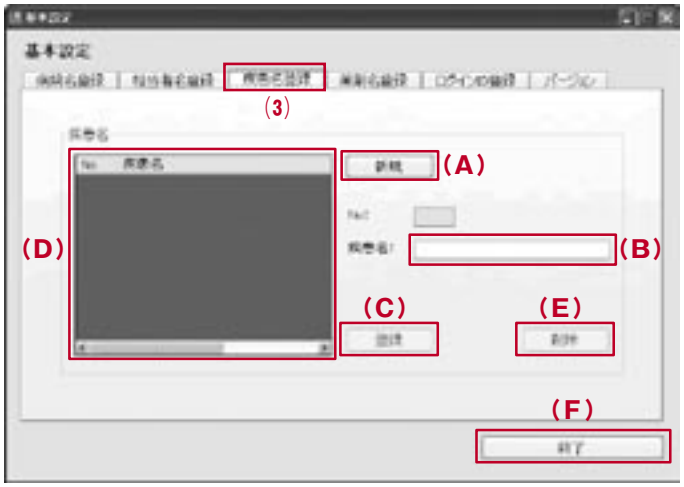
登録後の担当者名の削除ができます。（D）の表示画面から削除したい担当者名をクリックし、（E）の削除をクリックすると、削除確認画面がでてきます。はいをクリックすると削除ができます。いいえをクリックすると担当者登録画面に戻ります。

（F）終了をクリック

終了をクリックするとメインウィンドウに戻ります。基本設定を続ける際は、(3)をクリックしてください。

補足１：登録前の修正は、修正したい担当者名をクリック。

補足２：登録後の担当者名の修正は、（D）の中から修正したい担当者名をクリックし、（B）で修正し、修正後再度登録をクリック。



(3) 疾患名登録

（A）新規をクリック

（B）疾患名を入力

（C）登録をクリック

（D）登録後の疾患名表示画面

（E）削除をクリック

登録後の疾患名の削除ができます。（D）の表示画面から削除したい

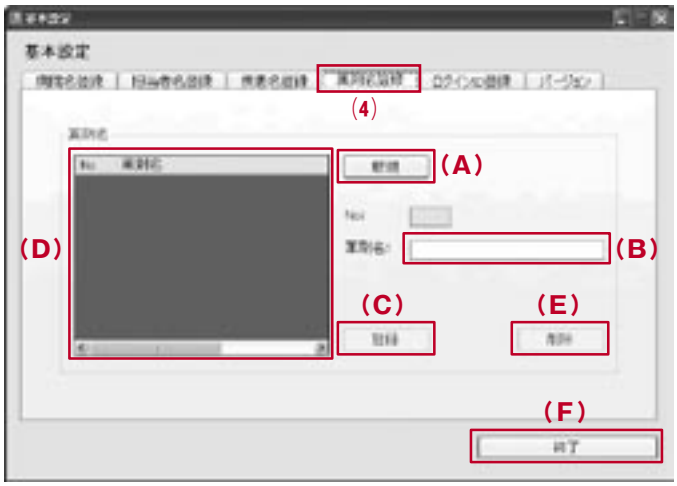
疾患名をクリックし、（E）の削除をクリックすると、削除確認画面が出てきます。はいをクリックすると削除ができます。いいえをクリックすると疾患名登録画面に戻ります。

（F）終了をクリック

終了をクリックするとメインウィンドウに戻ります。基本設定を続ける際は、終了をクリックしないで⑷をクリックしてください。

補足１：登録前の修正は修正したい疾患名をクリック。

補足２：登録後の疾患名の修正は、（D）の中から修正したい疾患名をクリックし、（B）で修正し、修正後再度登録をクリック。



⑷ 薬剤名登録

（A）新規をクリック

（B）薬剤名を入力

（C）登録をクリック

（D）薬剤名表示画面

（E）削除をクリック

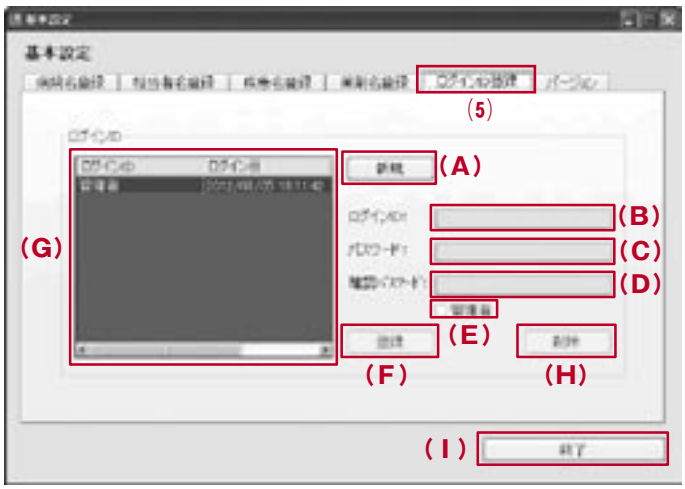
登録後の薬剤名の削除ができます。（D）の表示画面から削除したい薬剤名をクリックし、（E）の削除をクリックすると、削除確認画面が出てきます。はいをクリックすると削除ができます。いいえをクリックすると薬剤名登録画面に戻ります。

（F）終了をクリック

終了をクリックするとメインウィンドウに戻ります。基本設定を続ける際は、終了をクリックしないで⑸をクリックしてください。

補足１：登録前の修正は薬剤名をクリック。

補足２：登録後の薬剤名の修正は、（D）の中から修正したい薬剤名をクリックし、（B）で修正し、修正後再度登録をクリック。



(5) ログイン ID 登録

（A）新規をクリック

（B）ログイン ID を入力

（C）パスワード（英数記号・半角・3～10 文字）を入力

（D）確認パスワード

確認のため、再度パスワードを入力。

（E）管理者チェック

ログイン ID に管理者権限を持たせる際は、管理者をチェック。

補足：管理者権限を持ったログイン ID を複数登録しておくことをお勧めします。

（F）登録をクリック

（G）ログイン ID 登録表示画面（パスワードは表示されません）

（H）削除

登録後のログイン ID の削除ができます。（G）の表示画面から削除したいログイン ID をクリックすると右のログイン ID、パスワードに表示されます。表示の確認をした上で、（H）の削除をクリックすると、削除確認画面が出てきます。はいをクリックしてください。いいえをクリックするとログイン ID 登録画面に戻ります。1つずつの削除しかできません。いくつも削除したい際は、1 つずつ削除を繰り返してください。ログインしている方を削除することはできません。

補足：管理者は登録後の全てのユーザーログイン ID、及びパスワードの修正、削除ができますが、管理者自身を削除することはできません。管理者でない場合は、ユーザー自身のログイン ID とパスワードしか修正はできません（削除はできません）。（G）のログイン ID 表示画面から修正したいログイン ID をクリックすると右のログイン ID、パスワード欄に表示されますので修正してください。ログイン ID、またはパスワードの修正後、登録をクリックしてください。1 つずつのログイン ID の修正しかできません。いくつも修正したい際は、1 つずつ修正、登録を繰り返してください。

（I）終了をクリック

基本設定は (1)～(5)までです。終了をクリックするとメインウィンドウに戻ります。

基本情報（患者様）の登録

(1) 基本情報(患者様)登録をクリック

基本情報（患者様）登録（左）

（A）ID

患者様の ID が自動的に設定されています。

（B）病院 ID

病院で使用している診察券番号などを入力。ローマ字、カタカナなどの文字入力はできません。数字のみで入力してください。

（C）氏名

患者様の氏名を入力。

（D）担当

基本設定で登録した担当者名をプルダウンからお選びください。

（E）性別

男女で選択。

（F）生年月日

プルダウン（西暦（和暦）・月・日にち設定）から選択。

（G）年齢

生年月日から自動的に計算され表示されます。

（H）家族構成

その他にチェックすると、右スペースに家族構成などが入力（50 文字以内）ができます。

（I）初診・入院日

プルダウン（カレンダー）から選択。

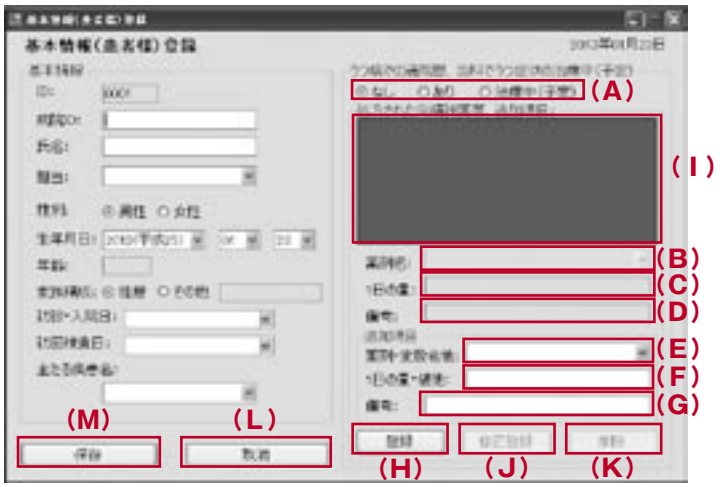
（J）初回検査日

プルダウン（カレンダー）から選択。

（K）主たる疾患名

基本設定で入力登録した疾患名をプルダウンから選択。

補足：直接入力することもできますが、基本設定することをお勧めします。



基本情報（患者様）登録（右）

（A）うつ病での通院歴、当科でうつ症状の治療中（予定も含む）

補足：なし、を選択した際は、（M）の保存をクリック、（B）以降には進めません。左側の基本情報だけが保存されます。

（B）薬剤名

基本設定で登録した薬剤名の中から１薬剤名をプルダウンから選択。薬剤名は、１薬剤しかできませんから、１薬剤名ずつ（H）の登録をクリックするか、もしくは１薬剤の１日の量、備考を入力してから（H）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

補足１：直接入力することもできますが、基本設定することをお勧めします。

補足２：診療情報提供書に書き出す際、精神疾患既往歴の処方薬の欄に反映されるため、（B）～（D）は向精神病薬についてのみを入力してください。

（C）１日の量

薬剤の１日の量を入力。１薬剤の１日の量ずつしかできませんから、１薬剤の１日の量ずつ（H）の登録をクリックするか、もしくは薬剤名、備考を入力してから（H）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

（D）備考

備考として、薬剤、分量に関する必要事項などを入力。１薬剤についての備考しかできませんから、１薬剤の備考ずつ（H）の登録をクリックするか、もしくは薬剤名、１日の量を入力してから（H）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

【追加項目】

（E）薬剤・変数名他

精神薬以外の項目も追加項目として入力できます。精神薬以外の薬剤、主たる疾患以外

の疾患名、うつ病発症のリスク因子などを変数名として入力。１薬剤・１変数名他しかできませんから、１薬剤・１変数名他ずつ（H）の登録をクリックするか、もしくは１日の量・値他、備考を入力してから（H）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

（F）１日の量・値他

薬剤やリスク因子などの変数名に対する値や量を入力。１薬剤・１変数名他についての１日の量・値他しかできませんから、１日の量・値他ずつ（H）の登録をクリックするか、もしくは薬剤・変数名他、備考も入力してから（H）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

（G）備考

備考として必要と思われる事項・情報を入力。１薬剤・１変数名他についての備考しかできませんから、１薬剤・１変数名他の備考ずつ（H）の登録をクリックするか、もしくは薬剤・変数名他についての、１日の量・値他を入力してから（H）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

（H）登録

（Ｉ）処方された向精神薬等、追加項目

処方された向精神薬等、追加項目が一覧で表示されます。

（Ｊ）修正登録

（H）の登録ボタンで登録した薬剤や追加項目の各欄を修正する場合は、（Ｉ）の表示画面から修正したい薬剤や追加項目をクリックし、（B）（C）（D）、もしくは（E）（F）（G）の各欄を修正（１薬剤、または１項目ずつ修正）してください。修正後、（Ｊ）の修正登録ボタンを押してください。以前のデータが修正され、上書きされます。正しい薬剤・追加項目であるかどうか（Ｉ）の表示画面を確認した後、最後に保存ボタンを押し、基本情報として保存してください。

（K）削除

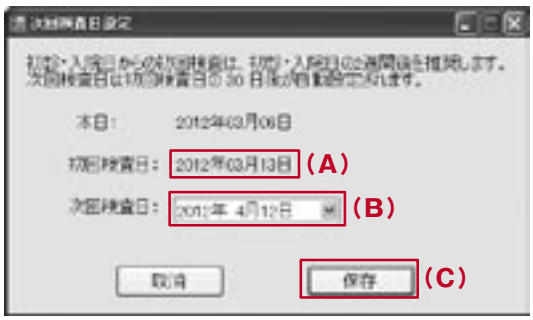
登録後の向精神病薬、追加項目の削除は、（Ｉ）の表示画面から削除したい項目をクリックし、選択してから（K）の削除をクリックすると、選択した向精神病薬、追加項目のすべてが削除されます。

（Ｌ）取消

基本情報登録をキャンセルしたい際にクリックするとメインウィンドウに戻ります。

（M）保存

設定の最後に必ずクリックしてください。保存しないとデータが消えてしまいます。



次回検査日設定

（A）初回検査日

基本情報（患者様）登録で登録された初回検査日が自動的に設定されます。

（B）次回検査日

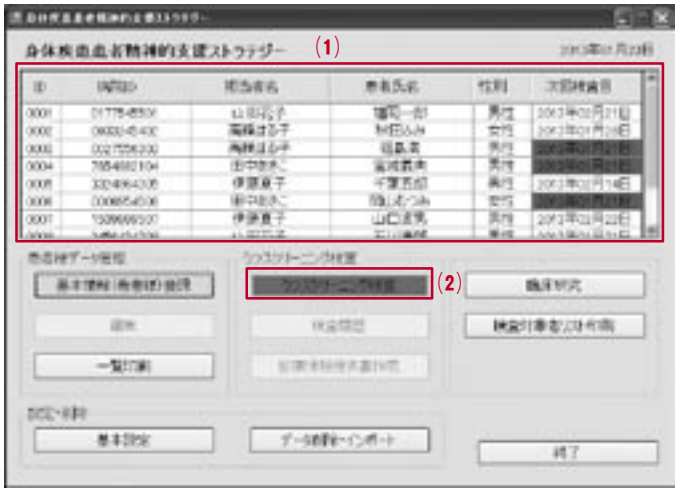
初回検査日から 30 日後に自動的に設定されています。次回検査日を自動設定日以外にする際は、プルダウン（カレンダー）を活用してください。直接入力もできます。

（C）保存をクリック

設定の最後に必ずクリックしてください。保存しないと次回検査日のデータが消えてしまいます。保存をクリックするとメインウィンドウに戻ります。

補足：初診・入院日の初回検査日は、初診・入院日から２週間後をお勧めします。

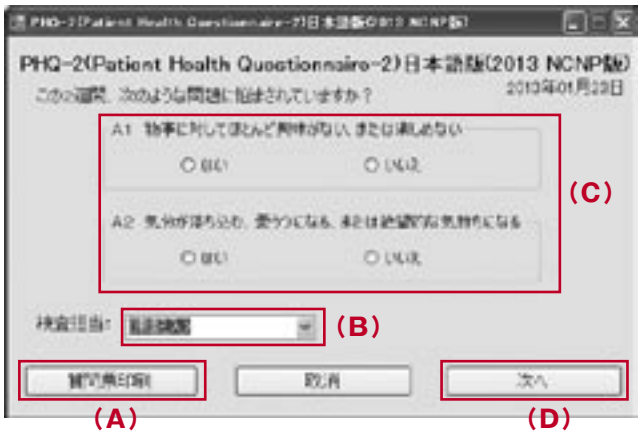
うつスクリーニング検査



(1) 登録患者様表示画面

うつスクリーニング検査を実施したい患者様を選んでクリックしてください。次回検査日の赤表示は予定されていた検査が実施されていない患者様です。

(2) うつスクリーニング検査をクリック



PHQ-2(Patient Health Questionnaire-2) 日本語版 (2013 NCNP 版)

（A）質問票印刷をクリック

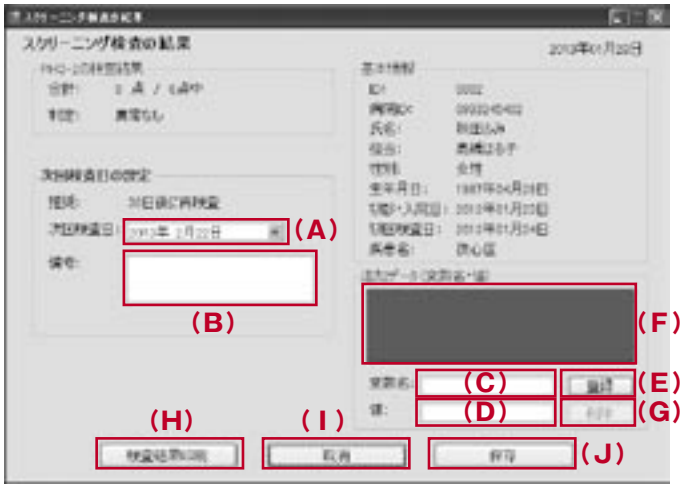
質問票は、患者様に直接記入していただくことを原則としています。質問票をプリントすることをお勧めします。

（B）検査担当を直接、またはプルダウン（基本設定に登録した担当者）から選択

（C）患者様にお答えいただいた、PHQ-2 の回答をチェック入力

（D）次へをクリック

患者様の状態に応じて、自動的に PHQ-2 の検査結果、もしくは、PHQ-9 の検査に進みます。



PHQ-2(Patient Health Questionnaire-2) 日本語版 (2013 NCNP 版) の検査結果

（A）次回検査日

次回検査日は、自動的に直近検査実施日から 30 日後に設定されています。直接の検査日入力、プルダウン（カレンダー）から選択できます。

（B）備考

注意事項などを入力してください（例えば、ICU や CCU から出た直後であるなど、検査結果に影響を与えそうなイベントを記入しておくと便利です）。

（C）変数名

他のうつ病スクリーニング検査など比較・参考に使うデータ名を入力できます。1 つずつの検査記入しかできません。

（D）値

変数名に対しての値などを入力してください（例えば、SDS の点数が 40 点だった場合には、［変数名］に「SDS」、［値］に「40」を入力）。

（E）登録をクリック

補足：登録は 1 つの追加データずつ、変数名と値をセットにして行います。薬剤・変数名と値はそれぞれ 1 つずつしか入力できません。複数の追加データを記録する際は、この操作を繰り返してください。1 つずつの登録を繰り返すことでいくつもの変数名を追加データとして登録できます。

（F）追加データ（変数名・値）表示画面

登録した変数名、値が表示されます。登録後の修正は追加データ表示画面の変数名、値（1 セットずつ）をクリックし、行ってください。新たに修正した追加データが加わります（追加登録）。修正前の追加データも残りますので、必要のない場合は修正前のデータを選択し、（G）の削除ボタンで削除してください。複数の項目の修正は、1 つずつこの操作を繰り返してください。

補足：追加データは患者情報における追加項目と異なり、スクリーニングの記録と同じタイミングで記録します。本ソフトウェアでは保存後に追加データの修正や追加などはできません。

（G）削除

登録後の変数名、値（セット）の削除は、（F）追加データ（変数名・値）表示画面の

１変数名・１値を１セットとして削除したい１セットを選びクリックし、削除をクリックします。変数名、値が一緒に削除されます。削除が１セット以上についてはこの操作を繰り返してください。

（H）検査結果印刷

検査結果を印刷すると、確認用としてプレビュー画面が表示されます。拡大する時は、上記メニューバーのズームをクリック。

初期設定は、A4 用紙に標準印刷されるよう設定されています。初期設定の変更、用紙・各種設定は、メニューバーの設定…をクリックすると、ページ設定が表示され変更できます。

プレビュー画面の印刷をクリックすると、プリンターの選択、プリンターのプロパティが設定できます。OK をクリック、印刷が開始されます。

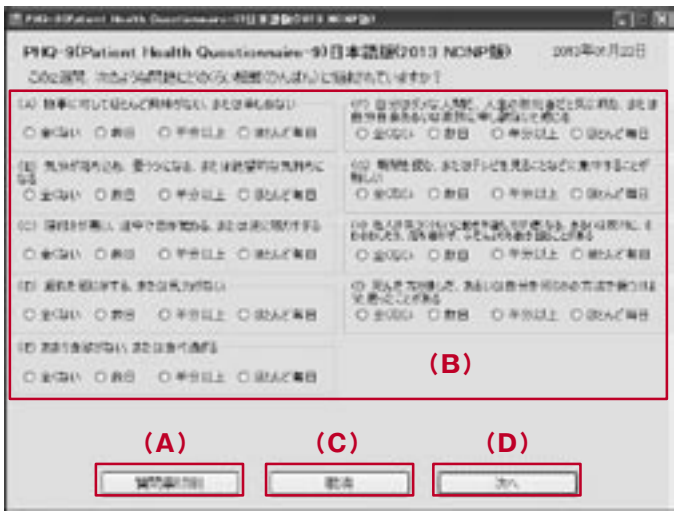
（I）取消

検査の結果をキャンセルする際は、クリックするとメインウィンドウに戻ります。

（J）保存をクリック

メインウィンドウに戻ります。

補足：うつスクリーニング検査の結果は、１日１検査データ分のみ保存・蓄積されます。同一日に、同じ患者様について、複数回のスクリーニング検査の結果を入力した場合、新しく入力した検査データが上書き保存されます。同一日の古い検査結果を残しておきたい場合は、臨床研究ボタンから検査データを CSV 形式で保存してから入力するか、古いほうの質問票を保存されることをお勧めします。



PHQ-9(Patient Health Questionnaire-9) 日本語版 (2013 NCNP 版)

（A）質問票印刷をクリック

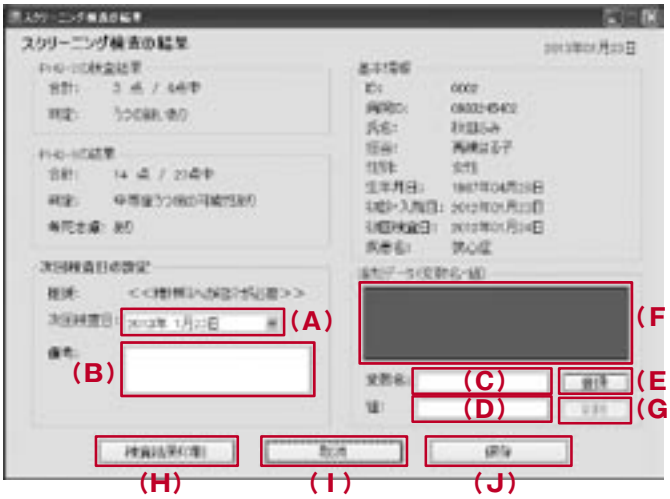
質問票は、患者様に直接記入していただくものです。まず、質問票をプリントすることをお勧めします。

（B）患者様にお答えいただいた、９つの質問の回答をチェック入力

（C）取消をクリック

内容がキャンセルされてメインウィンドウに戻ります。

（D）次へをクリック



PHQ-9(Patient Health Questionnaire-9) 日本語版 (2013 NCNP 版) 検査結果

（A）次回検査日

次回検査日は、検査結果内容、0 ～ 9 点＝異常なし・軽症は 30 日後、10 ～ 27 点＝中等症・やや重症・重症は当日に自動設定されています。自動設定以外に直接入力もできます。プルダウン(カレンダー）を活用ください。

（B）備考

注意事項などを入力してください（例えば、ICU や CCU から出た直後であるなど、検査結果に影響を与えそうなイベントを記入しておくと便利です)。

（C）変数名

他のうつ病スクリーニング検査など比較・参考に使うデータ名を入力できます。1 つずつの検査記入しかできません。

（D）値

変数名に対しての値などを入力してください（例えば、SDS の点数が 40 点だった場合には、［変数名］に「SDS」、［値］に「40」を入力)。

（E）登録をクリック

補足：登録は 1 つの追加データずつ、変数名と値をセットにして行います。薬剤・変数名と値はそれぞれ 1 つずつしか入力できません。複数の追加データを記録する際は、この操作を繰り返してください。1 つずつの登録を繰り返すことでいくつもの変数名を追加データとして登録できます。

（F）追加データ（変数名・値）表示画面

登録した変数名、値が表示されます。登録後の修正は追加データ表示画面の変数名、値（1 セットずつ）をクリックしてください。新たに修正した追加データが加わります。複数の項目の修正は、1 つずつこの操作を繰り返してください。

補足 1：修正前の追加データも残りますので、必要のない場合は修正前のデータを選択し、（G）の削除ボタンで削除してください。複数の項目の修正は、1 つずつこの操作を繰り返してください。

補足 2：追加データは患者情報における追加項目と異なり、スクリーニングの記録と同じタイミングで記録します。本ソフトウェアでは保存後に追加データの修正や追加などはできません。

（G）削除

登録後の変数名、値（セット）の削除は、（F）追加データ（変数名、値）表示画面の

１変数名・１値を１セットとして削除したい１セットを選びクリックし、削除をクリックします。変数名、値が一緒に削除されます。削除が１セット以上についてはこの操作を繰り返してください。

（H）検査結果印刷

検査結果を印刷する際は、確認用としてプレビュー画面が表示されます。拡大する際は、上記メニューバーのズームをクリック。

初期設定は、A4 用紙に標準印刷されるよう設定されています。初期設定の変更、用紙・各種設定は、メニューバーの設定…をクリックすると、ページ設定が表示され変更できます。プレビュー画面の印刷をクリックすると、プリンターの選択、プリンターのプロパティが設定できます。OK をクリック、印刷が開始されます。

（I）取消

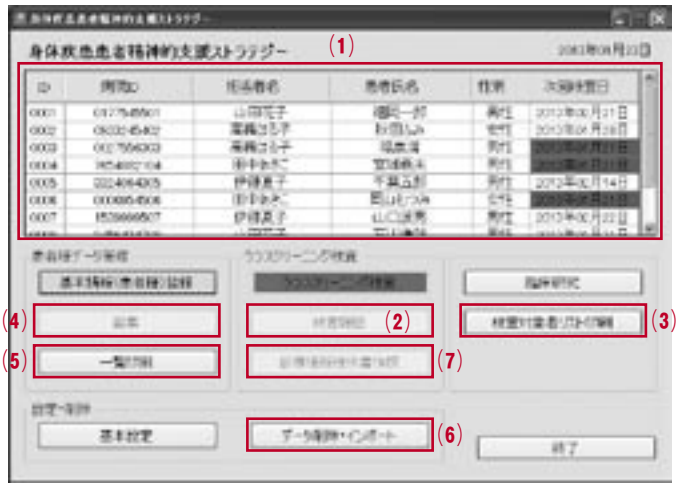
検査の結果をキャンセルする際は、取消をクリックするとメインウィンドウに戻ります。

（J）保存をクリック

メインウィンドウに戻ります。

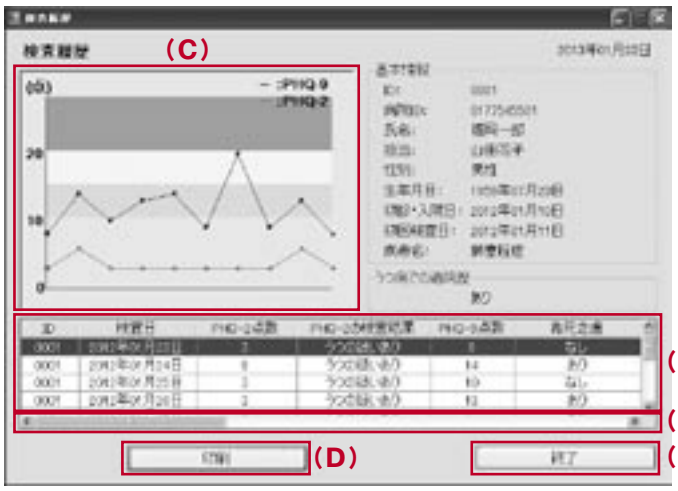
補足：うつスクリーニング検査の結果は、１日１検査データ分のみ保存・蓄積されます。同一日に、同じ患者様について、複数回のスクリーニング検査の結果を入力した場合、新しく入力した検査データが上書き保存されます。同一日の古い検査結果を残しておきたい場合は、臨床研究ボタンから検査データを CSV 形式で保存してから入力するか、古いほうの質問票を保存されることをお勧めします。

登録患者様表示画面、検査履歴、検査対象者リスト印刷、編集、一覧印刷、データ削除・インポート、診療情報提供書作成



(1) 登録患者様表示画面

補足：(2)検査履歴、(4)編集、(7)診療情報提供書作成を実施する際は、表示画面から対象としたい患者様１名を選んでクリックしてから(2)、(4)、(7)をクリックしてください。赤表示は予定されていた検査が実施されていない患者様です。



⑵ 検査履歴

（A）検査結果詳細表示

補足：ID、検査日、PHQ-2・点数、PHQ-9・点数、希死念慮、検査結果、備考、各設問の回答、検査担当者名が検査日の古い順に表示されます。

（B）スクロールバー

補足：（A）の右側に隠れて表示されているデータをみる際は横スクロールバーをスライドさせてください。

（C）検査結果グラフ表示

PHQ-2・点数と PHQ-9・点数が時系列でグラフ表示され、点数の推移が確認できます。縦軸が点数、横軸が検査日（時間）です。PHQ-2・点数は赤、PHQ-9・点数は青で表示されています。

補足：PHQ-2 の各回答の欄の数字は、0 ＝「いいえ」、3 ＝「はい」を、PHQ-9 の各回答の欄の数字は、1 ＝「全くない」、2 ＝「数日」、3 ＝「半分以上」、4 ＝「ほとんど毎日」、0= 未実施を表しています。

（D）印刷をクリック

検査履歴を印刷する際は、確認用としてプレビュー画面が表示されます。拡大する際は、プレビュー画面のズームをクリック。

初期設定は、A4 用紙に標準印刷されるよう設定されています。初期設定の変更、用紙・各種設定は、プレビュー画面の設定…をクリックすると、ページ設定が表示され変更できます。

プレビュー画面の印刷をクリックすると、プリンターの選択、プリンターのプロパティが設定できます。OK をクリック、印刷が開始されます。

印刷が必要ない場合は、閉じるをクリックすると検査履歴画面に戻ります。

（E）終了をクリック

メインウィンドウに戻ります。

⑶ 検査対象者リスト印刷（未検査の患者様のリストを表示）

（A）ズームをクリック

拡大してみるときにクリック。

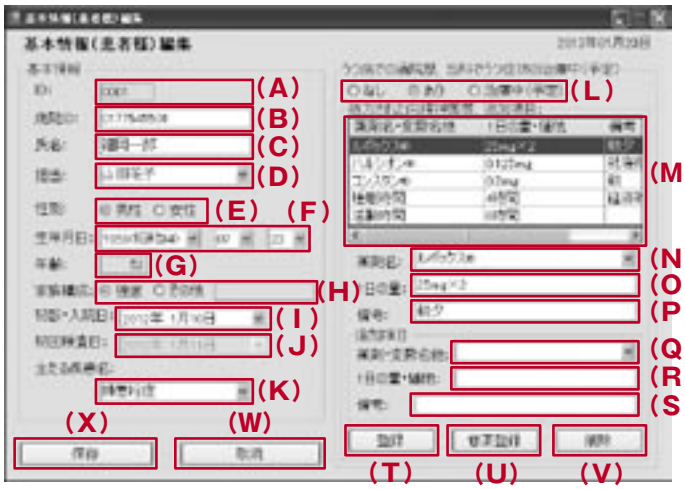
（B）閉じるをクリック

印刷が必要ない際にクリックすると、メインウィンドウに戻ります。

（C）印刷…をクリック

ダイアログボックスが表示されます。

各設定をして、OK をクリック、印刷が開始されます。印刷が終了するとメインウィンドウに戻ります。



⑷ 編集　基本情報（患者様）登録の追加・修正・削除

基本情報

（A）ID

編集できません。

（B）病院 ID

数字をクリックして修正。

（C）氏名

文字をクリックして修正。

（D）担当

プルダウンから選べます。直接入力もできます。

（E）性別

性別を再選択しクリック。

（F）生年月日

プルダウン（西暦（和暦）・月・日にち設定）から選択。

（G）年齢

生年月日から自動的に計算され表示されます。

（H）家族構成

その他にチェックすると、右スペースに家族構成などが入力（50 文字以内）できます。

（I）初診・入院日

プルダウン（カレンダー）から選択。数字を直接入力して修正もできます。

（J）初回検査日

すでにうつスクリーニング検査を行っている患者様の初回検査日は編集できません。1 度もうつスクリーニング検査を行っていない患者様については、プルダウン（カレンダー）から選択。または数字を直接入力して修正ができます。

（K）主たる疾患名

プルダウンから選択。直接入力もできます。

（L）うつ病の通院歴、当科でうつ症状の治療中（予定）

再チェックできます。

（M）処方された向精神薬等、追加項目表示画面

薬剤名・変数名他、1 日の量・値他、備考の追加は下記の各欄で行ってください。修正については（U）修正登録を参照してください。

補足：（M）の表示画面の項目における、追加、修正を行う際には、薬剤や追加項目のデータ整理のために、備考に追加、修正した年月日を入力することをお勧めします。

（N）薬剤名（精神科薬剤）

追加したい精神科薬剤名をプルダウンから選択。直接入力もできます。１薬剤しかできませんから、１薬剤名ずつ（T）の登録をクリックするか、もしくは１薬剤の１日の量、備考も入力してから（T）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

（O）1 日の量（精神科薬剤）

1 日の量をクリックして直接入力で追加してください。１薬剤の１日の量しかできませんから、１薬剤の１日の量ずつ（T）の登録をクリックするか、もしくは薬剤名、備考も入力してから（T）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

（P）備考（精神科関連）

必要事項をクリックして直接入力で追加してください。１薬剤についての備考しかできませんから、１薬剤についての備考ずつ（T）の登録をクリックするか、もしくは薬剤名、１日の量も入力してから（T）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

追加項目

（Q）薬剤・変数名他

プルダウンで選択または直接入力で追加してください。１薬剤・１変数名他しかできませんから、１薬剤・１変数名他ずつ（T）の登録をクリックするか、もしくは１日の量・

値他、備考も入力してから（T）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

（R）1 日の量・値他

1 日の量・値他をクリックして直接入力で追加してください。1薬剤・1変数名他についての1日の量・値他しかできませんから、1日の量・値他ずつ（T）の登録をクリックするか、もしくは1薬剤・1変数名他、備考も入力してから（T）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

（S）備考

備考をクリックして直接入力で追加してください。1薬剤・1変数名他についての備考しかできませんから、1薬剤・1変数名他についての備考ずつ（T）の登録をクリックするか、もしくは薬剤・変数名他、1日の量・値他も入力してから（T）の登録をクリックする操作を繰り返してください。

（T）登録

（U）修正登録

薬剤や追加項目の各欄を修正する場合は、（M）の表示画面から修正したい薬剤や追加項目をクリックし、（N）（O）（P）、もしくは（Q）（R）（S）の各欄を修正（1薬剤、または1項目ずつ修正）してください。修正後、（U）の修正登録ボタンを押してください。以前のデータが修正され、上書きされます。正しい薬剤・追加項目であるかどうか（M）の表示画面を確認した後、最後に保存ボタンを押し、基本情報として保存してください。

補足：（M）の表示画面の項目における、追加、修正を行う際には、薬剤や追加項目のデータ整理のために、備考に追加、修正した年月日を入力することをお勧めします。

（V）削除をクリック

表示画面（M）の削除したいセットをクリックすると1つのセットの一括削除ができます。

（W）取消をクリック

基本情報を編集しない際に使用してください。メインウィンドウに戻ります。

（X）保存をクリック

最後に必ずクリックしないと修正の反映した内容のデータ化の保存ができません。保存をクリックすると次回検査日のダイアログボックスが表示されます。編集ボタンからの保存となるため、次回検査日はうつスクリーニング検査で設定した次回検査日がダイアログボックスに表示されます。次回検査日を変更する場合はプルダウン（カレンダー）を利用するか直接入力してください。取消をクリックすると次回検査日を変更せずにメインウィンドウに戻ります。保存をクリックするとメインウィンドウに戻ります。

⑸ 一覧印刷

（A）ズームをクリック

拡大してみるときにクリック。

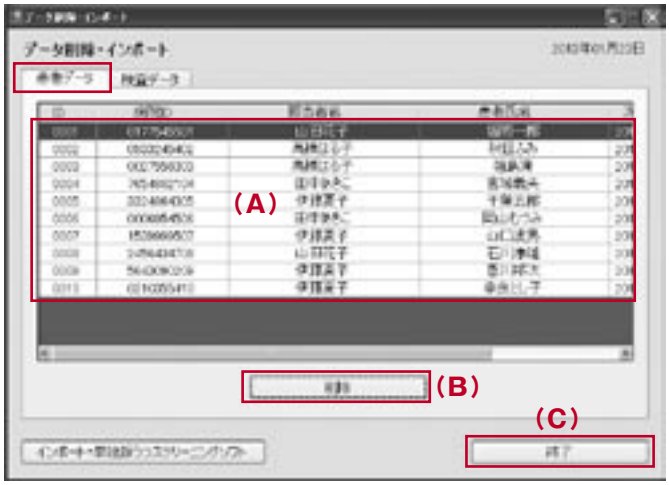
（B）閉じるをクリック

印刷が必要ない場合クリックするとメインウィンドウに戻ります。

（C）印刷…をクリック

ダイアログボックスが表示されます。

各設定をして、OK をクリック、印刷が開始されます。印刷が終了するとメインウィンドウに戻ります。



⑹ データ削除・インポート

患者データの削除

（A）削除したい患者様１人を選びクリック

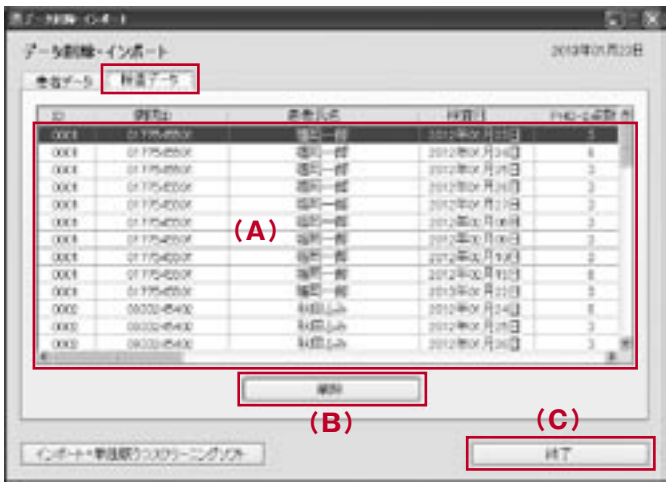
患者様の患者データと検査データの全てが削除されます。１つ以上の際は、この操作を繰り返してください。

（B）削除をクリック

削除する患者様の確認画面が表示されます。はいをクリックしてください。１つ以上の際は、この操作を繰り返してください。

（C）終了をクリック

全ての削除が確認できたらクリックするとメインウィンドウに戻ります。検査データ、インポート・単独版うつスクリーニングソフトに進む際は、終了をクリックしないでください。



検査データの削除

（A）削除したい１つの検査データを選んでクリック

　１つ以上の際は、この操作を繰り返してください。

（B）削除をクリック

　削除する検査データの確認画面が表示されます。はいをクリックしてください。１つ以上の際は、この操作を繰り返してください。

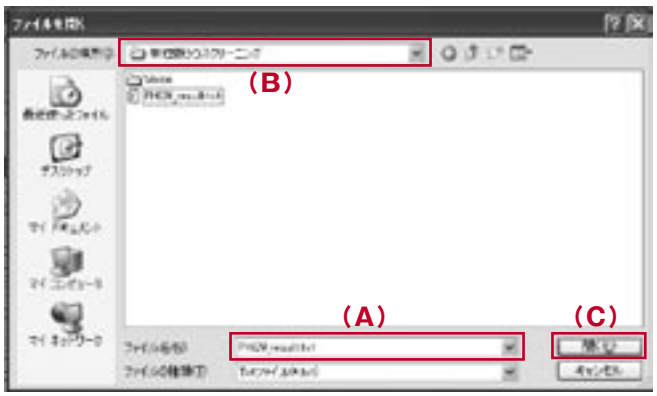
（C）終了をクリック

　全ての削除が確認できたらクリックするとメインウィンドウに戻ります。患者データ、インポート・単独版うつスクリーニングソフトに進む際は、終了をクリックしないでください。

インポート・単独版うつスクリーニングソフト

（D）インポート・単独版うつスクリーニングソフトをクリック

　インポートするファイルを選択する画面が開きます。



（A）取り込むファイル名を指定

ファイル名は PHQ9_result.txt をそのままお使いください。

（B）ファイルの場所

単独版うつスクリーニングを身体疾患患者精神的支援ストラテジーと同じパソコンにインストールしており、インストール場所を変更していないときは、マイコンピュータ→ローカルディスク（C:）→ NOVA 出版フォルダ→単独版うつスクリーニングフォルダ → PHQ9_result.txt を指定します。

補足：単独版うつスクリーニングを、身体疾患患者精神的支援ストラテジーとは別のパソコンにインストールして使用している場合は、USB メモリなどを使って「PHQ9_result.txt」のみを、身体疾患患者精神的支援ストラテジーがインストールされているパソコンに移動・保存してから、「PHQ9_result.txt」の場所を指定してください。

（C）開くをクリック

取り込みを開始します。終了するとメッセージが表示され患者データ画面が開きます。

補足 1：単独版うつスクリーニングで入力した病院 ID と同じ病院 ID の患者様が本ソフトウェアにすでに登録されている場合、その患者様の検査データとして、自動的に単独版うつスクリーニングの検査データを取り込み、追加登録します。

補足 2：本ソフトウェアにおけるうつスクリーニング検査の結果は、1 日 1 検査データ分のみ保存できます。例えば 4 月 1 日に、患者様 A が、質問票によるスクリーニング検査と単独版うつスクリーニングによるスクリーニング検査を行い、担当者が本ソフトウェアに質問票によるスクリーニング検査結果を入力した後で、単独版うつスクリーニングの検査結果のインポートを行った場合、単独版うつスクリーニングでの検査の結果が上書き保存されます。インポート後に本ソフトウェアで質問票によるスクリーニング検査結果を入力すると、質問票によるスクリーニング検査結果が上書き保存されます。同一日の古い検査結果を残しておきたい場合は、臨床研究ボタンから検査データを CSV 形式で保存してから入力、またはインポートをするか、古いほうの質問票を保存されることをお勧めします。

患者データ画面

（A）患者データ画面で取り込んだ患者様の 1 つをクリック

取り込んだデータは、本ソフトウェアの患者データの下に ID9000 番以降にオレンジ色で追加表示されます。患者データ画面で取り込んだ患者様の 1 つをクリックしてください。

オレンジ色で表示された患者様を本ソフトウェアに登録するかどうかについて、ダイアログ画面が表示されます。登録する場合は、はいをクリックしてください。基本情報（患者様）登録画面が表示されます。登録しない場合はいいえをクリックしてください。

（B）終了をクリック

すべての登録が終わりましたら、終了をクリックしてください。メインウィンドウに戻ります。

補足：本ソフトウェアにすでに登録している患者様が単独版うつスクリーニングでテストした際には追加の検査データとしてご利用できます。

基本情報（患者様）登録画面

基本情報（患者様）登録に必要な項目を入力してください（14 ページ参照）

補足 1：患者氏名は必ず入力してください。他に性別、生年月日、担当者氏名、通院歴、初診・入院日など必要事項を入力してください。

補足 2：患者氏名を入力した際に、同姓同名の患者様の場合、登録を続けるかどうかについてのダイアログが表示されます。同姓同名で別の患者様の場合は、はいをクリックして操作を続けてください。単独版うつスクリーニングで病院 ID を間違えた場合は、いいえをクリックして、再度単独版うつスクリーニングでテストを実施するか、もしくは、スタッフが病院 ID を訂正した上で、テスト結果を入力し、インポートし直してください。

（A）保存をクリック

次回検査日設定のダイアログが表示されますので、設定してください。

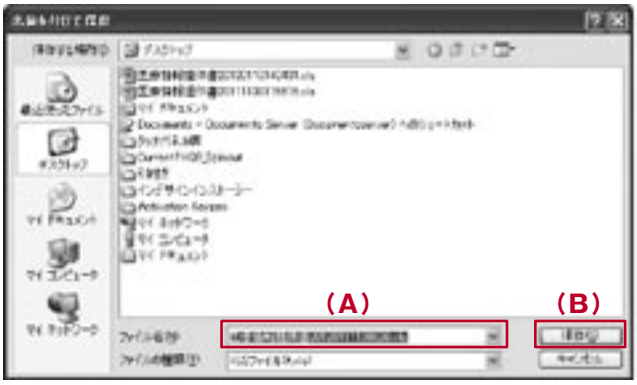
補足 1：単独版うつスクリーニングのデータをインポートし終わりましたら、以下の操作をして PHQ9_result.txt を新しくしてください。

(1) マイコンピュータ→ローカルディスク（C:）→ NOVA 出版フォルダ→単独版うつスクリーニングフォルダ内にある PHQ9_result.txt を別の名前に変えるか、削除してください。

(2) (1)の後、単独版うつスクリーニングを初めて行うときのみ、ソフトがインストールされているフォルダ 内〈ローカルディスク（C:）→ NOVA 出版フォルダ→単独版うつスクリーニングフォルダ内〉にある PHQ9_Spinout.exe（アプリケーション）をダブルクリックして起動し、スクリーニングを開始してください。1 人目のスクリーニングが終了すると、新しく PHQ9_result.txt が作成されます。

(3) PHQ9_result.txt の新規作成後、普段どおりにスタートニューかショートカットキーで起動できます。

補足２：PHQ9_result.txt を新しくする際、古い PHQ9_result.txt を別名にして保存することをお勧めします。PHQ9_result.txt の検査データは Excel などに読み込むことができますので、検査データを蓄積しておき臨床研究等でご利用いただけます。



⑺ 診療情報提供書作成

（Ａ）診療情報提供書のファイル名を指定してください

（Ｂ）保存

初期設定ではデスクトップ上に保存されます。

保存場所を変更したい際は、保存場所を選びクリックし保存、保存後、完了通知画面で OK をクリックします。診療情報提供書が保存場所に保存されます。

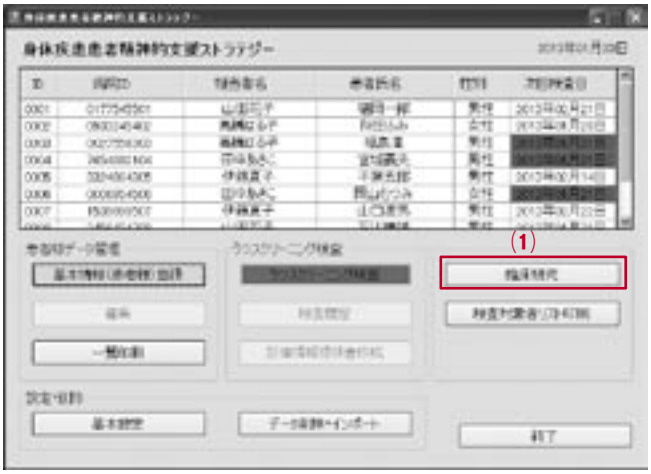
診療情報提供書

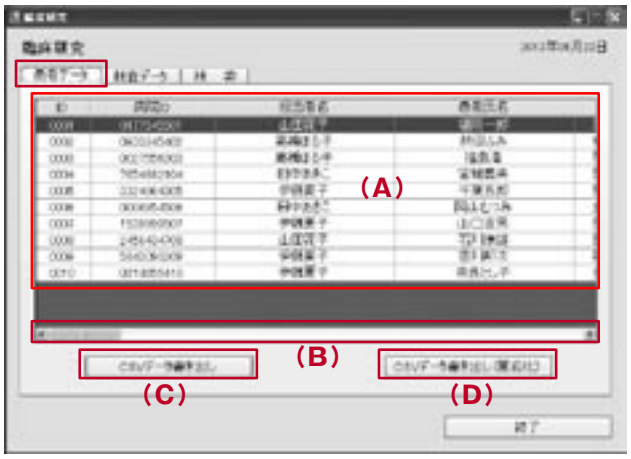
保存された診療情報提供書（紹介状）のファイルは、Excel で作成されています。Excel で開き、必要な情報を入力してください。

黄色で表示されている項目は、直接入力してください。黄色以外の項目は、基本設定で登録した病院情報が表示されます。

作成した診療情報提供書はファイルメニューから印刷し、保存してください。

臨床研究





(1) 臨床研究をクリック

補足：臨床研究の患者データ、検査データ、全データ、検索データの保存、書き出し、印刷は、Excel を使用しています。

患者データ

（A）患者データ表示画面

ID、病院 ID、担当者名、患者氏名、性別、年齢、次回検査日、生年月日、家族構成、初診・入院日、初回検査日、疾患名、通院歴、薬剤名・変数名他、1 日の量・値他、備考が表示されています。初期設定では ID 順に表示されています。

（B）スクロールバー

表示画面の右側に隠れているデータをみる際はスクロールバーをスライドしてください。

補足 1：薬剤の表示
処方薬剤が複数ある場合は、薬剤ごとに「薬剤名・変数名他」「1 日の量・値他」「備考」の順で、左から右へ並んで表示されます。

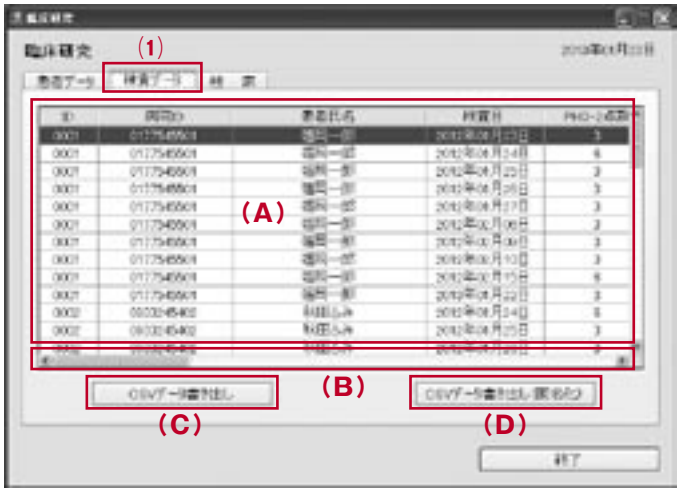
補足 2：項目ごとの並び替え
ID 以外の項目での並び替えは、並び替えたい項目名をクリックします。もう一度クリックすると、逆順の並び替えができます（例えば、生年月日の項目を一度クリックすると、生年月日の新しい順で並び替えられます。もう一度生年月日の項目をクリックすると、生年月日の古い順で並び替えられます）。

（C）CSV データへの書き出しをクリック

患者氏名、病院 ID などのデータが CSV データへの書き出しで保存されます。初期設定はデスクトップに ID 順に並んだ CSV データとして保存されています。他の項目で並び替えてから CSV データへの書き出しをすると、その並び順の CSV データとして保存されます。保存場所を変更する際は、保存場所を指定し直してください。

（D）CSV データ書き出し（匿名化）をクリック

患者氏名と病院 ID が外された匿名化 CSV データとして書き出しされます。初期設定は ID 順で並んだ CSV データになります。また、並び替えた CSV の書き出しにも匿名化の対応をしています。



検査データ

(1) 検査データをクリック

（A）検査データ表示画面

ID、病院 ID、患者氏名、検査日、PHQ-2・点数、PHQ-2 の検査結果、PHQ-9・点数、希死念慮、検査結果、備考、各設問の回答、検査担当者名、追加データ（スクリーニング検査の結果で追加したデータ）が、表示されています。初期設定では ID 順に並び、同じ ID の中では検査日の古い順に表示されています。

（B）スクロールバー

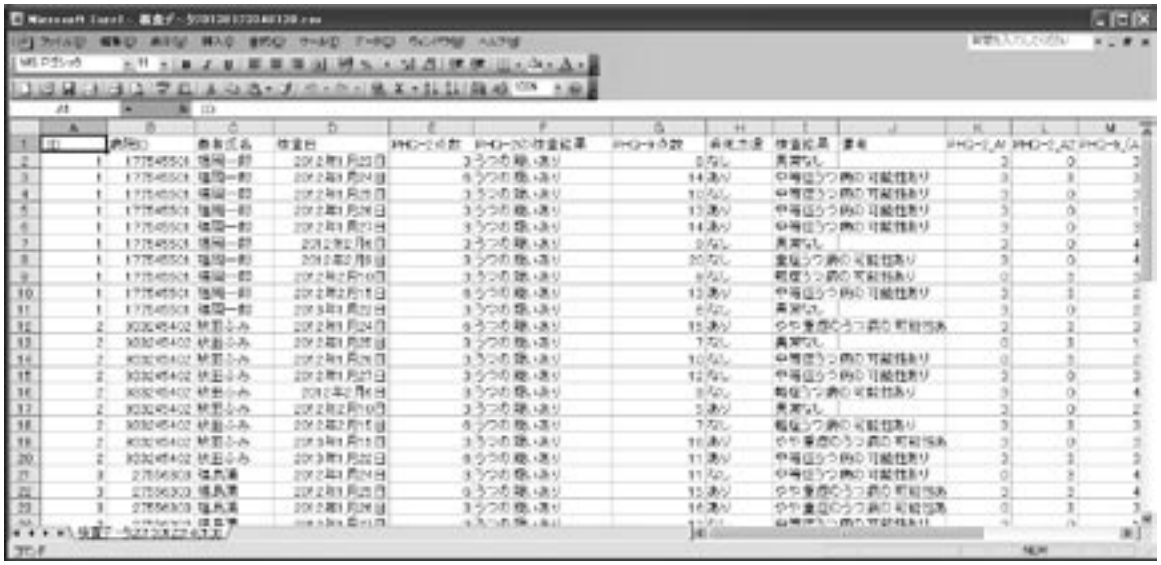
表示画面の右側に隠れているデータをみる際はスクロールバーを横にスライドしてください。

補足 1：各設問の点数
PHQ-2 の各問の数字は、0 =「いいえ」、3 =「はい」を、PHQ-9 の各問の数字は、1 =「全くない」、2 =「数日」、3 =「半分以上」、4 =「ほとんど毎日」、0= 未実施を表しています。

補足 2：項目ごとの並び替え
他の項目での並び替えは、並び替えたい項目名をクリックします。もう一度クリックすると、逆順の並び替えができます（例えば、PHQ-2・点数の項目をクリックすると、PHQ-2・点数の低い順で並び替えられます。もう一度 PHQ-2・点数の項目をクリックすると、点数の高い順で並び替えられます）。

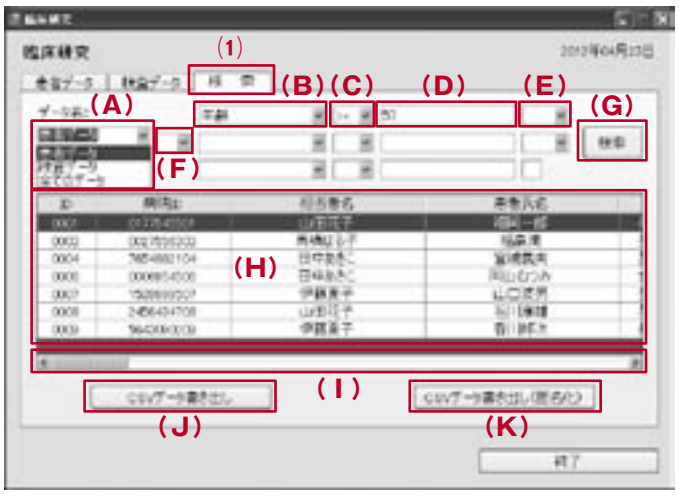
（C）CSV データへの書き出しをクリック

患者氏名、病院 ID などのデータが CSV データへの書き出しで保存されます。初期設定はデスクトップに ID 順に並んだ CSV データとして保存されています。他の項目で並び替えてから CSV データへの書き出しをすると、その並び順の CSV データとして保存されます。保存場所を変更する際は、保存場所を指定し直してください。



（D）CSV データ書き出し（匿名化）をクリック

患者氏名と病院 ID が外された匿名化 CSV データとして書き出しされます。初期設定は ID 順で並んだ CSV データになります。また、並び替えた CSV の書き出しにも匿名化の対応をしています。



検索

(1) 検索をクリック

（A）データ名

検索に使うデータとして、患者データ、検査データ、全てのデータ（患者、検査の両方のデータ）のどれを使うかを選んでください。

（B）比較検索項目の指定（3 項目の比較ができます）

プルダウンメニュー（選択したデータ名の各項目がプルダウンされます）から１つ目の比較検索したい項目名を指定してください。

（C）比較条件を選択

（B）に対して、比較したい条件として、等しい（＝）、大きい（＞）、小さい（＜）、等しいまたは大きい（＞＝）、等しいまたは小さい（＜＝）のいずれかをプルダウンメニューから選んでください。

（D）直接入力

（B）に対して、比較したい内容（値、文字）を、直接入力してください。

（E）３つまでの検索条件（患者データ、検査データ、全てのデータの各項目の比較内容）を組み合わせた検索をしたい際に使用します。

プルダウンメニューから AND（１つ目の条件と、AND で結んだ２つ目の条件のどちらも満たす検索をしたい際に使用）、OR（１つ目の条件と、OR で結んだ２つ目の条件のいずれかを満たす検索をしたい際に使用）を指定。本ソフトでは、３つまでの条件をカッコを用いながら組み合わせて検索できます。

（F）カッコ

AND と OR を組み合わせて比較するときの優先順位を変えるときにカッコを使います。

（G）検索

検索の条件が決まりましたらクリックしてください。

（H）検索結果表示画面

検索結果のデータが表示されます。初期設定では ID 順に並んで表示されています。

（I）スクロールバーをクリック

（H）の表示画面の右側に隠れているデータをみる際は、横スクロールバーをスライドさせてください。

（J）CSV データへの書き出しをクリック

検索されたデータが CSV データへの書き出しで保存されます。初期設定はデスクトップに ID 順に並んだ CSV データとして保存されています。

（K）CSV データ書き出し（匿名化）をクリック

検索されたデータから患者氏名と病院 ID が外された匿名化 CSV データとして書き出しされています。初期設定は ID 順で並んだ CSV データになります。また、並び替えた CSV の書き出しにも匿名化の対応をしています。

検索例1：

患者データから伊藤夏子が担当する患者さんで、ハルシオンを処方されている 50 歳以上の方を検索する。

（A）[データ名]：検索に使うデータとして、「患者データ」を選択します。

（B）の欄：プルダウンメニューから検索する項目名として「担当者名」を指定します。

（C）の欄：プルダウンから「等しい（＝）」を指定します。

（D）の欄：「伊藤夏子」を入力します。

（E）の欄：「AND」を指定します。

（F）の欄：プルダウンメニューから検索する項目名として「薬剤名・変数名他」を指定します。

（G）の欄：プルダウンから「等しい（＝）」を指定します。

（H）の欄：「ハルシオン ®」を指定します。

（I）の欄：「AND」を指定します。

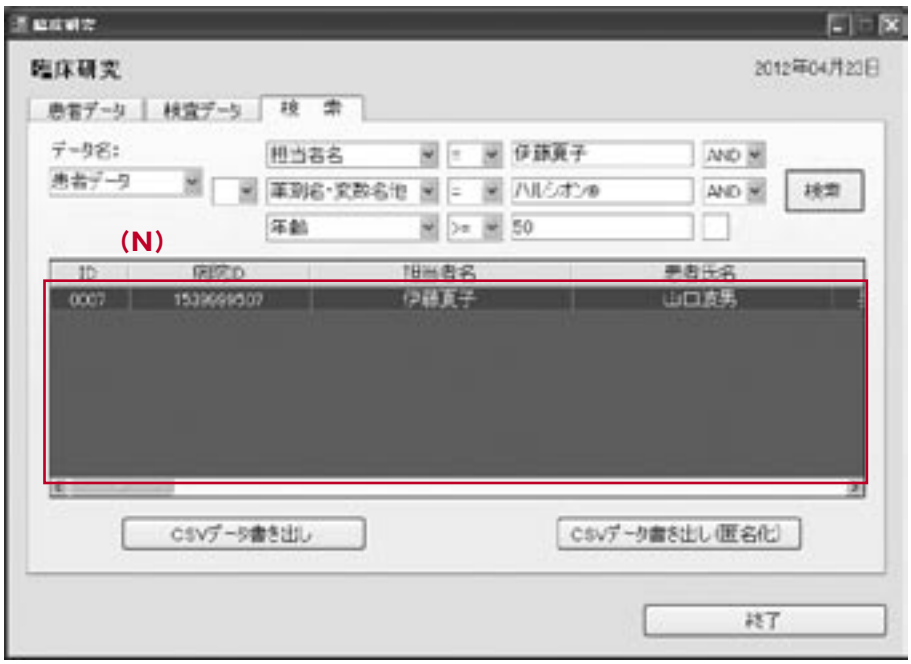
（J）の欄：プルダウンメニューから検索する項目名として「年齢」を指定します。

（K）の欄：「以上（＞＝）」をプルダウンから指定します。

（L）の欄：「50」を入力します。

（M）検索 : 検索ボタンを押します。

（N）検索結果表示 : 検索結果が複数ある場合、初期設定では ID 順に並んで、表示されています。



検索例2：

患者データから睡眠時間が５時間以下の患者さんで、ハルシオンを処方されている方を検索する。

（A）[データ名]：検索に使うデータとして、「患者データ」を選択します。

（B）の欄：プルダウンメニューから検索する項目名として「薬剤名・変数名他」を指定します。

（C）の欄：プルダウンから「同じ（＝）」を指定します。

（D）の欄：「睡眠時間」を入力します。

（E）の欄：「AND」を指定します。

（F）の欄:プルダウンメニューから検索する項目名として「1 日の量･値他」を指定します。

（G）の欄：プルダウンから「以下（＜＝）」を指定します。

（H）の欄：「5 時間」を指定します。

（I）の欄：「AND」を指定します。

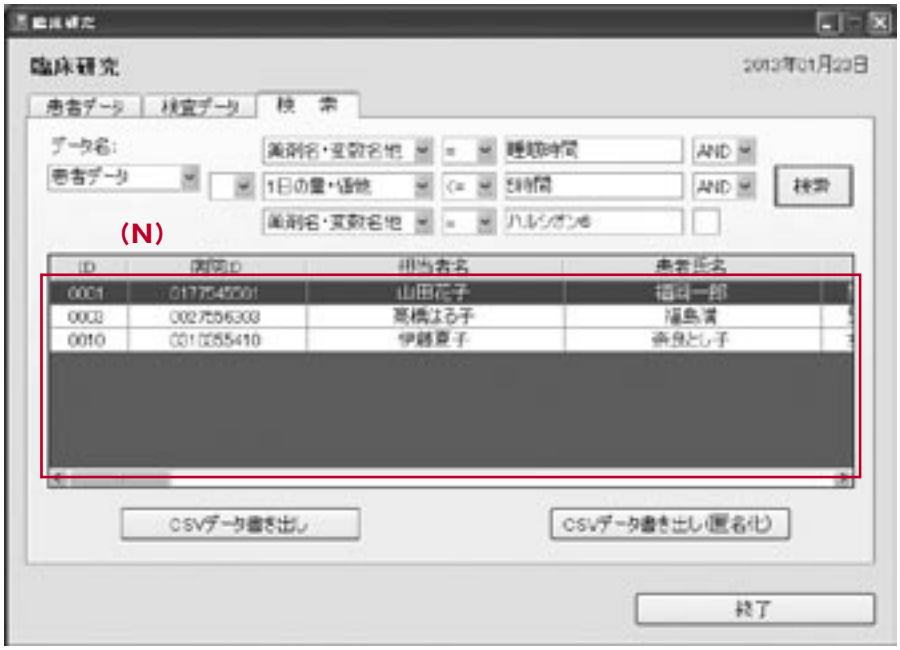
（J）の欄：プルダウンメニューから検索する項目名として「薬剤名・変数名他」を指定します。

（K）の欄：「同じ（＝）」をプルダウンから指定します。

（L）の欄：「ハルシオン ®」を入力します。

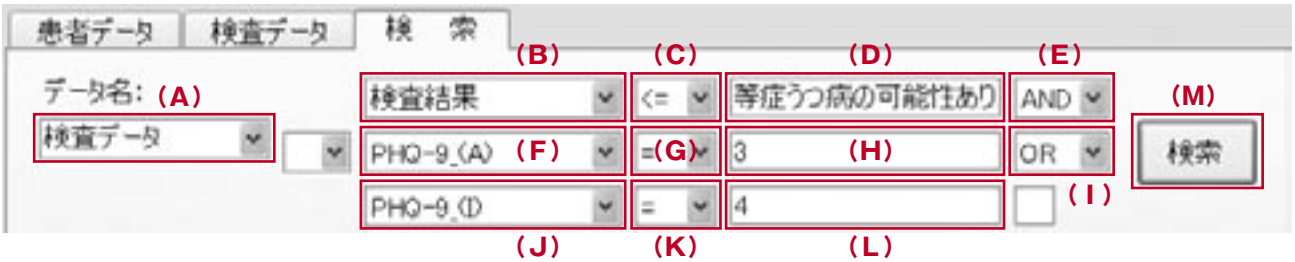
（M）検索：検索ボタンを押します。

（N）検索結果表示：検索結果が複数ある場合、初期設定では ID 順に並んで、表示されています。



検索例3：

検査データから、検査結果が「中等症うつ病の可能性あり」以下の患者さんで PHQ-9 の質問（A）に「半分以上」と答えた方のほか、PHQ-9 の質問（I）に「ほとんど毎日」と答えた全ての方を検索する。



（A）[データ名]：検索に使うデータとして、「検査データ」を選択します。

（B）の欄：プルダウンメニューから検索する項目名として「検査結果」を指定します。

（C）の欄：「以下（＜＝）」をプルダウンから指定します。

（D）の欄：「中等症うつ病の可能性あり」を入力します。

（E）の欄：AND を指定します。

（F）の欄:プルダウンメニューから検索する項目名として「PHQ-9_（A）」を指定します。

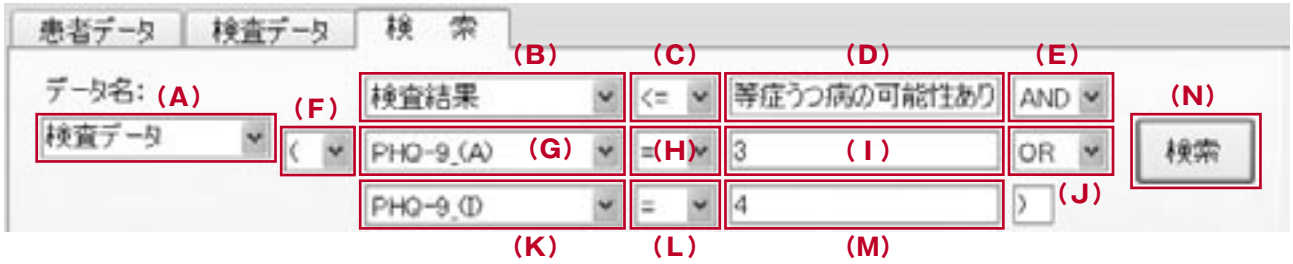
（G）の欄：「同じ（＝）」をプルダウンから指定します。

（H）の欄：「3」を入力します。

（Ｉ）の欄：「OR（または)」を指定します。
（Ｊ）の欄:プルダウンメニューから検索する項目名として「PHQ-9_（Ｉ)」を指定します。
（Ｋ）の欄：「同じ（＝)」をプルダウンから指定します。
（Ｌ）の欄：「4」を入力します。
（Ｍ）検索：検索ボタンを押します。
（Ｎ）検索結果表示

検索例4：

検査データから、PHQ-9 の質問（Ａ）に「半分以上」と答えた患者さん、または PHQ-9 の質問（Ｉ）に「ほとんど毎日」と答えた患者さんで、かつ検査結果が「中等症うつ病の可能性あり」以下の方を検索する。



（Ａ）[データ名]：検索に使うデータとして、「検査データ」を選択します。
（Ｂ）の欄：プルダウンメニューから検索する項目名として「検査結果」を指定します。
（Ｃ）の欄：「以下（＜＝)」をプルダウンから指定します。
（Ｄ）の欄：「中等症うつ病の可能性あり」を入力します。
（Ｅ）の欄：AND を指定します。
（Ｆ）の欄：「(」を選択します（後ろの閉じカッコ「)」は自動で入ります)。
（Ｇ）の欄:プルダウンメニューから検索する項目名として「PHQ-9_（Ａ)」を指定します。

（H）の欄：「同じ（＝）」をプルダウンから指定します。

（Ｉ）の欄：「3」を入力します。

（Ｊ）の欄：「OR（または）」を指定します。

（K）の欄:プルダウンメニューから検索する項目名として「PHQ-9_（Ｉ）」を指定します。

（Ｌ）の欄：「同じ（＝）」をプルダウンから指定します。

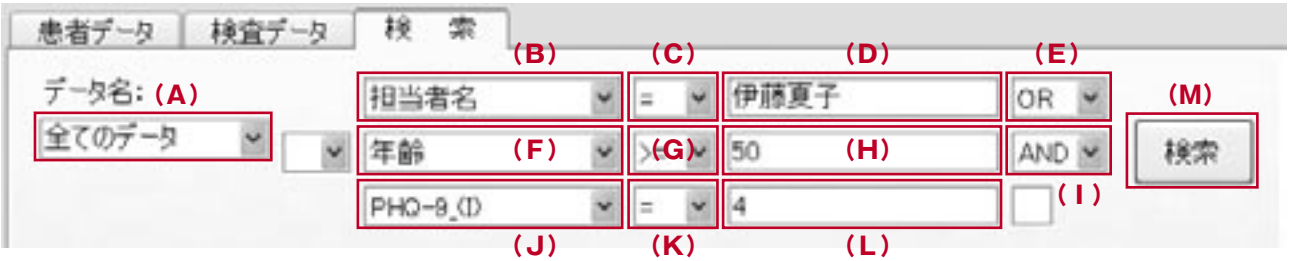
（M）の欄：「4」を入力します。

（N）検索：検索ボタンを押します。

（O）検索結果表示

検索例5：

全てのデータから、伊藤夏子が担当している患者さんのほか、年齢 50 歳以上の患者さんでなおかつ PHQ-9 の質問（Ｉ）に「ほとんど毎日」と答えた全ての方を検索する。



（A）[データ名]：検索に使うデータとして、「全てのデータ」を選択します。

（B）の欄：プルダウンメニューから検索する項目名として「担当者名」を指定します。

（C）の欄：「同じ（＝）」をプルダウンから指定します。

（D）の欄：「伊藤夏子」を入力します。

（E）の欄：OR を指定します。
（F）の欄：プルダウンメニューから検索する項目名として「年齢」を指定します。
（G）の欄：「以上（＞＝）」をプルダウンから指定します。
（H）の欄：「50」を入力します。
（I）の欄：「AND」を指定します。
（J）の欄:プルダウンメニューから検索する項目名として「PHQ-9_（I）」を指定します。
（K）の欄：「同じ（＝）」をプルダウンから指定します。
（L）の欄：「4」を入力します。
（M）検索：検索ボタンを押します。
（N）検索結果表示

検索例6：

全てのデータから、PHQ-9 点数が 15 点以上の患者さんか、または PHQ-9 の質問（A）に「半分以上」と答えた患者さんか、またはサインバルタを処方されている患者さんを検索する。

（A）[データ名]：検索に使うデータとして、「全てのデータ」を選択します。
（B）の欄：プルダウンメニューから検索する項目名として「PHQ-9 点数」を指定します。

（C）の欄：「以上（＞＝）」をプルダウンから指定します。

（D）の欄：「15」を入力します。

（E）の欄：OR を指定します。

（F）の欄:プルダウンメニューから検索する項目名として「PHQ-9_（A）」を指定します。

（G）の欄：「同じ（＝）」をプルダウンから指定します。

（H）の欄：「3」を入力します。

（I）の欄：OR を指定します。

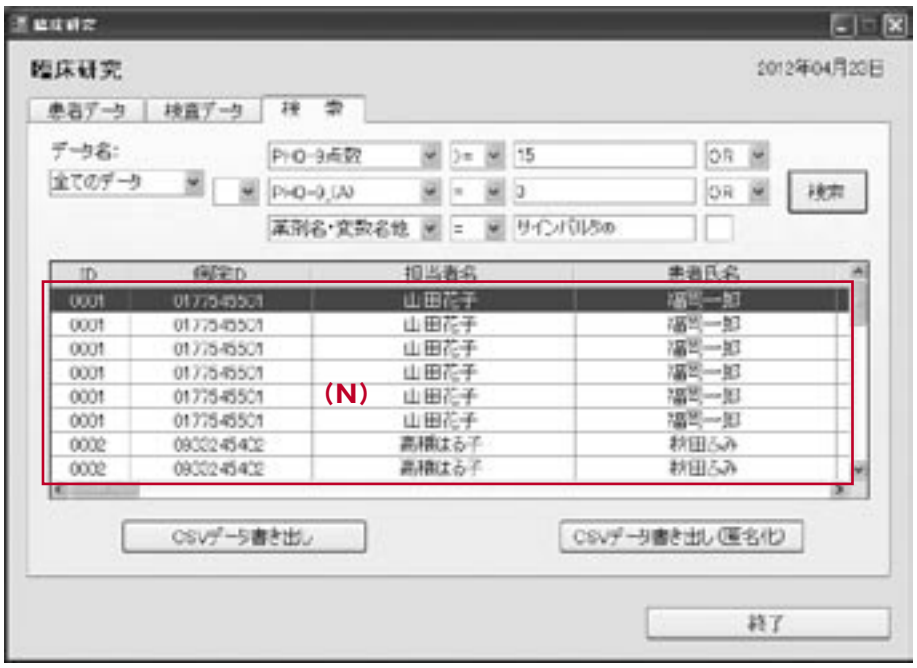
（J）の欄：プルダウンメニューから検索する項目名として「薬剤名・変数名他」を指定します。

（K）の欄：「同じ（＝）」をプルダウンから指定します。

（L）の欄：「サインバルタ ®」を入力します。

（M）検索：検索ボタンを押します。

（N）検索結果表示



●単独版うつスクリーニング

単独版うつスクリーニングは、身体疾患患者精神的支援ストラテジーのうつスクリーニングだけを行うソフトです。

マウス操作のほか、タッチパネルディスプレイにも対応しており、タッチパネルをタッチして検査を進めていくことができます。また、音声読み上げ機能も備えており、音声に応えながら検査を進めることもできます。検査結果は検査ごとに印刷して患者様にお渡しすることができます。

検査結果はすべてテキストファイルに保存されていますので、身体疾患患者精神的支援ストラテジーのソフトにインポートし、登録することができます。蓄積された検査データを直接 Excel などに取り込むこともできますので、幅広く臨床研究などにご利用いただくこともできます。

使用環境

本ソフトウェアを使用するためには以下の環境が必要です。

OS	Windows XP ServicePack 3 以上 Windows Vista Windows 7

※ディスプレイは 1024 × 768 以上の解像度でお使いください

インストール

次の手順でソフトウェアをインストールしてください。

1. CD内の「単独版うつスクリーニング」フォルダを開き、なかにある「単独版うつスクリーニングsetup.exe」をダブルクリックします

補足１：「.NET Framework4.0」の実行環境のインストールを要求されることがあります。ネット経由でダウンロードするか、「単独版うつスクリーニング」フォルダ内の「dotNet」フォルダーの２ファイルを別途インストールしてください。

2. 単独版うつスクリーニングセットアップウィザード

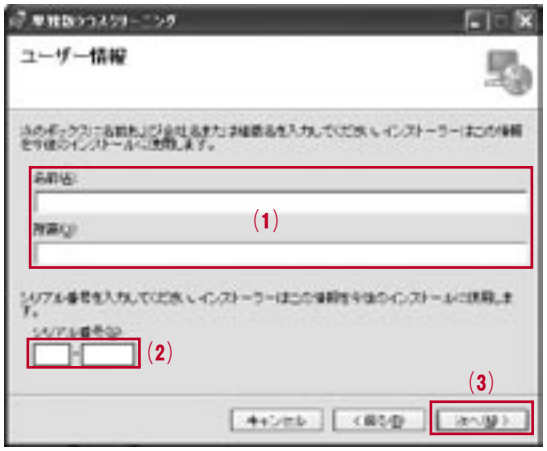
(1) 次へ をクリック

3. ライセンス条項

使用許諾契約書をお読みいただいた上で

(1) 同意するにチェック

(2) 次へ をクリック



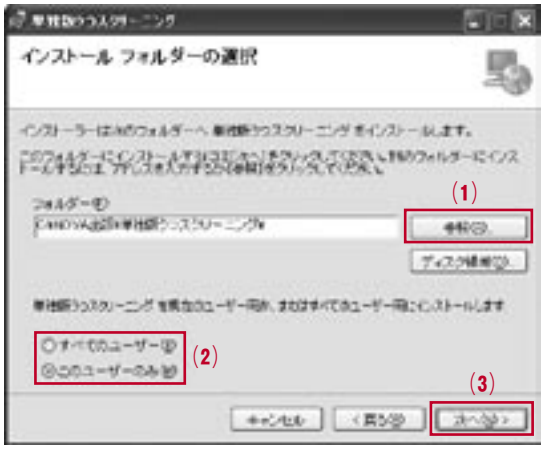
4. ユーザー情報

(1)「名前」「所属」を入力（任意）

(2) シリアル番号を入力

（シリアル番号は、別紙「シリアル番号」に記載されています）

(3) 次へをクリック



5. インストール フォルダの選択

(1) 変更する場合は、参照をクリック

(2) 対象ユーザーを指定

お一人で同ソフトを管理する際は、「このユーザーのみ」をチェックしてください。それ以外は「すべてのユーザー」をチェックしてください。

(3) 次へをクリック

補足：初期設定でのインストールする場所は C ドライブ直下の「NOVA 出版」フォルダー内、「単独版うつスクリーニング」フォルダになっています。

6. インストールの確認

(1) 次へをクリック

7. インストールが完了しました

(1) 閉じるをクリック

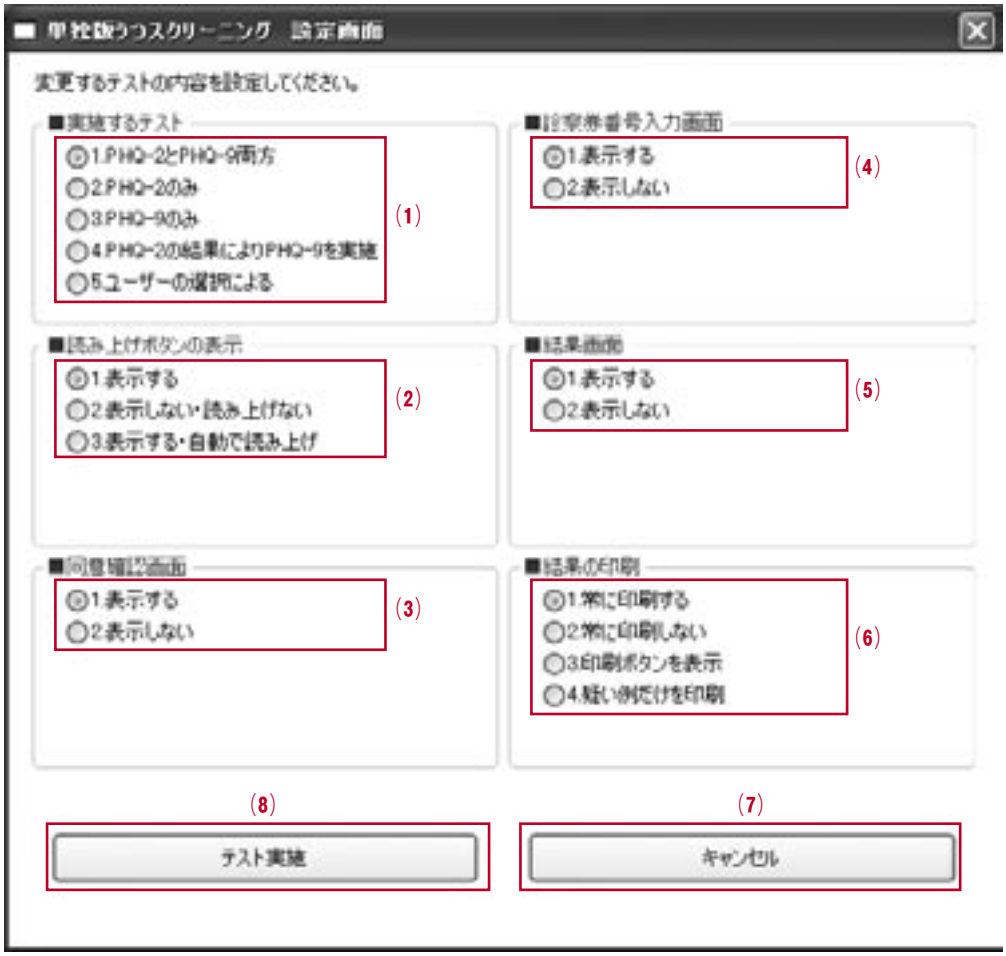
ソフトウェアを起動する

1. デスクトップ上のアイコン「単独版うつスクリーニング」をダブルクリック

補足：アイコンがみつからない際は、スタートメニューから、「すべてのプログラム」→「NOVA 出版」→「単独版うつスクリーニング」の順に選択してください。

テスト内容の設定とテストの開始

ソフトウェアが開始すると、最初に設定画面が表示されます。それぞれの項目で 1 つ選択して、テストの方法を設定してください。



(1) 実施するテスト

PHQ-2 と PHQ-9 の実施パターンを設定します。

1. PHQ-2 と PHQ-9 両方：PHQ-2 に続いて PHQ-9 を実施。
2. PHQ-2 のみ：PHQ-2 だけを実施。
3. PHQ-9 のみ：PHQ-9 だけを実施。
4. PHQ-2 の結果により PHQ-9 を実施：PHQ-2 の両方の質問に「いいえ」と答えた場合は PHQ-2 だけで終了。PHQ-2 のどちらかの質問に「はい」と答えた場合に PHQ-9 を実施。
5. ユーザーの選択による：PHQ-2 終了後にテスト継続の確認画面が表示され、患者様が選択する。

(2) 読み上げボタンの表示

音声読み上げボタンの表示と読み上げ動作を設定してください。

1. 表示する：［音声読み上げおよび再生］ボタンが表示され、ボタンをクリック

（タッチ）すると読み上げ動作を行います。

2. 表示しない・読み上げない：［音声読み上げおよび再生］ボタンはクリック（タッチ）できず、読み上げ動作は行いません。
3. 表示する・自動で読み上げ：自動で読み上げ動作を行う。［音声読み上げおよび再生］ボタンをクリック（タッチ）すると読み上げ動作を行います。

⑶ 同意確認画面

テスト開始時に、患者様にテスト実施への同意を求める画面を表示する、しないを設定してください。

⑷ 診察券番号入力画面

数字（0 ～ 9）による診察券番号の入力画面を表示する、しないを設定してください。

⑸ 結果画面

合計点数を含むテストの結果を表示する、しないを設定してください。

⑹ 結果の印刷

テストの結果を印刷するかどうかを設定してください。

1. 常に印刷する：検査結果の表示と同時に印刷を行います。
2. 常に印刷しない：検査結果の印刷は行われません。
3. 印刷ボタンを表示：印刷ボタンを表示する。被験者の意思で検査結果を印刷できます。
4. 疑い例だけを印刷：PHQ-9の１問目または２問目の回答が「半分以上」以上、かつ、「半分以上」以上（ただし、９問目に関しては「数日」以上）の回答が3問以上、の２つの条件を満たしたときだけ印刷できます。

⑺ [キャンセル]ボタン

テストを実施せずにプログラムを終了するときクリック。

⑻ [テスト実施]ボタン

このボタンをクリック（タッチ）すると、テストが始まります。

テストは、「同意確認」「診察券番号入力」「質問」「結果表示」「結果印刷」が１サイクルになっています。一度テストを開始すると、終了操作を行わないと、テストのサイクルを繰り返します。

スクリーニングテストのながれ

テストは設定画面での設定に応じて、「同意確認」「診察券番号入力」「PHQ-2、PHQ-9 の質問」「結果表示」「結果印刷」を順番に進み、「同意確認」に戻ります。一度テストを開始すると、終了操作を行なうまで、テストのサイクルを繰り返します。

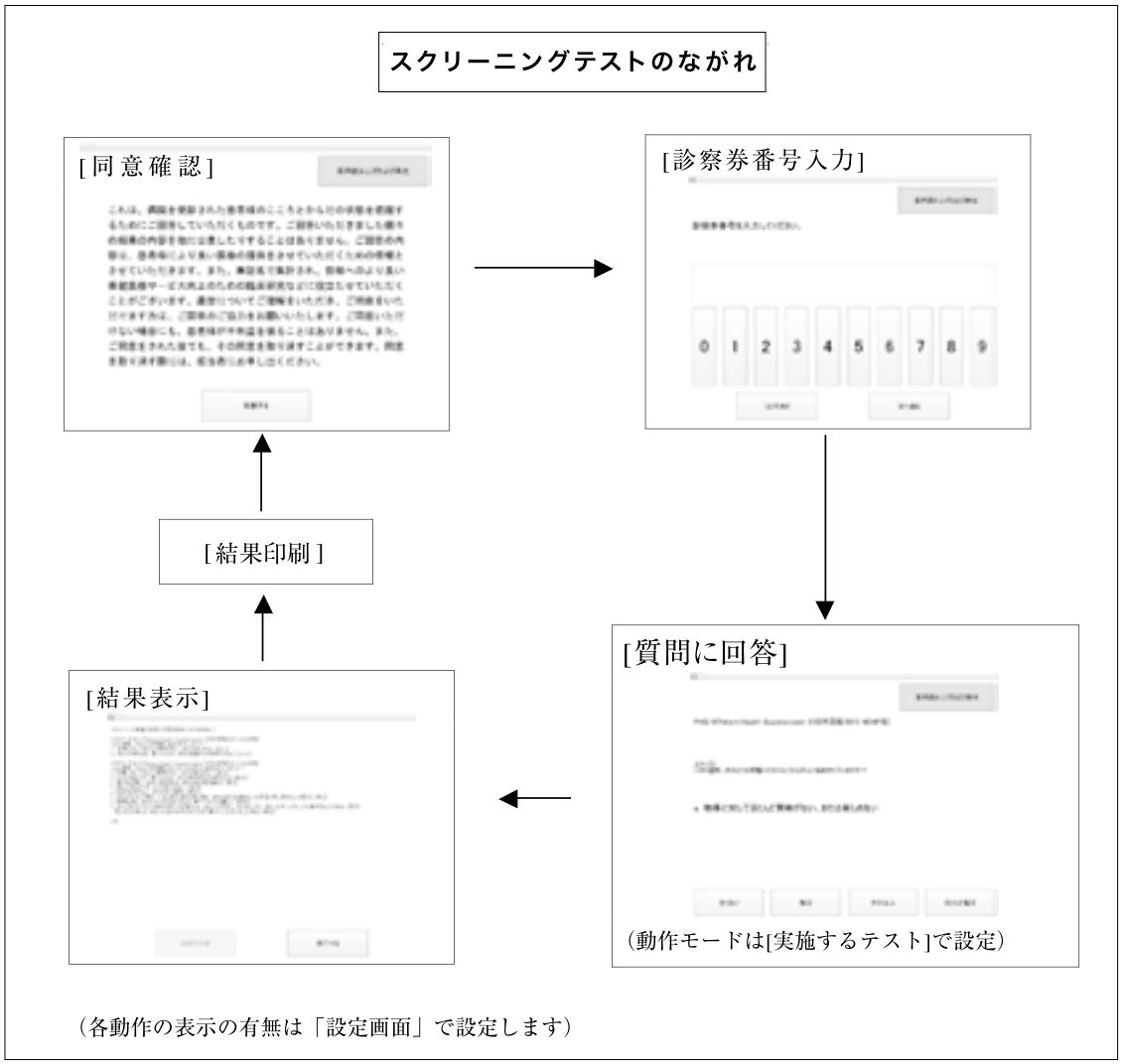
「同意確認」：マウスでボタンをクリックするか、タッチパネルディスプレイの場合、ボタンに触れると次に進みます。

「診察券番号入力」：マウスで数字ボタンをクリックするか、タッチパネルディスプレイの場合、ボタンに触れて入力します。入力を間違えた場合は１文字消すボタンで削除し、再入力できます。診察券番号の入力を終えたら次へ進むを押します。

「PHQ-2、PHQ-9 の質問」：マウスでボタンをクリックするか、タッチパネルディスプレイの場合、ボタンに触れると次に進みます。

「結果印刷」：印刷ボタンを表示する設定にしている場合、マウスでボタンをクリックするか、タッチパネルディスプレイの場合、ボタンに触れると結果が印刷されます。

「終了」：マウスでボタンをクリックするか、タッチパネルディスプレイの場合、ボタンに触れると「同意画面」に戻ります。



テストを終了する

テストを実施している際に、キーボードの [ALT]+[F4] を同時に押します。

テスト結果データを身体疾患患者精神的支援ストラテジーに取り込む

単独版うつスクリーニングは、検査結果を PHQ9_result.txt という名前のテキストファイルに保存しています。PHQ9_result.txt を身体疾患患者精神的支援ストラテジーにインポート・登録すれば、身体疾患患者精神的支援ストラテジー上での検査データとして活用できます（27 ページ参照）。

テスト結果データを Excel に取り込む

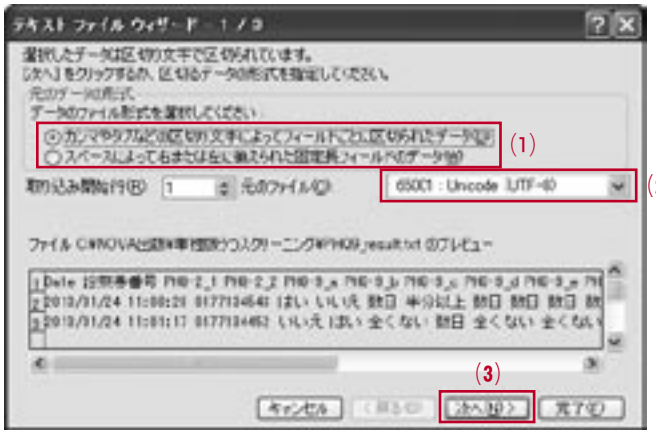
テスト結果は PHQ9_result.txt という名前のテキストファイルに保存されています。蓄積された検査データを Excel に取り込み統計、臨床研究等にご利用いただけます。

1. Excel を起動し、新規ファイルを開く

2. Excel の[データ]メニュー→[外部データの取り込み] → [データの取り込み…]を選択

3. 「データファイルの選択」画面でPHQ9_result.txt（初期設定ではC:\NOVA出版\単独版うつスクリーニングソフト内にあります）を選択し、開くをクリック

4. テキスト ファイル ウィザード1/3

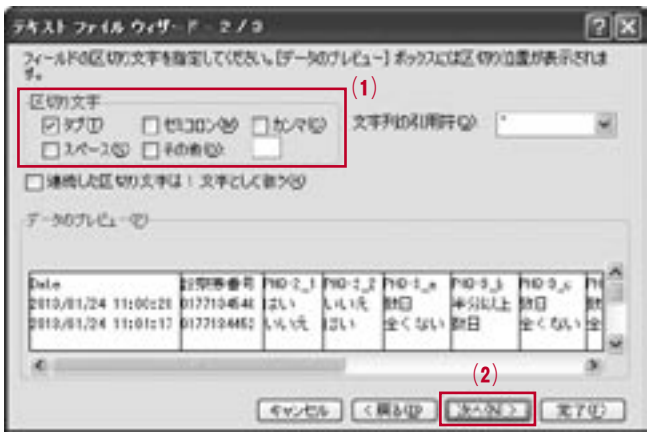


(1) 元のデータの形式は“カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ”を選択

(2) エンコードは“65001：Unicode (UTF-8)”を選択

(3) 次へをクリック

補足：テスト結果は、プログラムのインストールフォルダ（初期設定では C:\NOVA 出版 \ 単独版うつスクリーニングソフト）内の「PHQ9_result.txt」に、タブ区切りテキストとして、文字コード Unicode UTF8 で保存されています。



5. テキストファイル ウィザード2/3

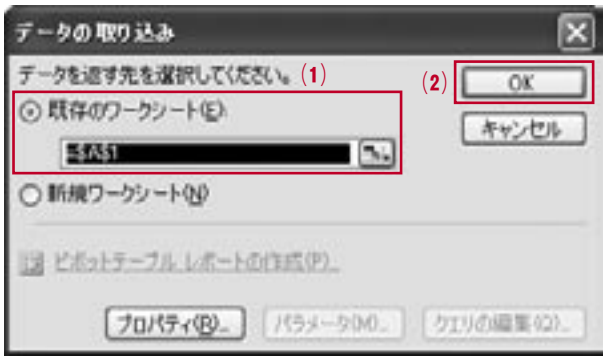
(1) 区切り文字は“タブ”をチェック

(2) 次へをクリック

6. テキストファイル ウィザード3/3

(1) 列のデータ形式は“G/ 標準”を選択

(2) 完了 をクリック



7. データの取り込み

(1) デフォルトの設定（“既存のワークシート”でデータを貼り付ける左上位置を指定）を確認

(2) OK をクリック

これで Excel に検査結果データが取り込まれました。

うつスクリーニング質問票印刷

PHQ-2、PHQ-9 の質問票を、それぞれ印刷するためのソフトです。質問票のみをすぐに印刷し、お渡しできます。外来や受付、診察室、病棟などのパソコンにインストールしておき、必要に応じて、ご活用いただけます。回収した質問票を身体疾患患者精神的支援ストラテジーのソフトに入力し、入院・通院中の患者様の精神的状況を把握され、身体疾患患者精神的支援ストラテジーのソフトの使用へ段階的に移行することで、患者様の精神的支援にご利用いただけます。

使用環境

本ソフトウェアを使用するためには以下の環境が必要です。

OS	Windows XP ServicePack 3 以上 Windows Vista Windows 7
Office	Office 2000 以上
容量	ハードディスクの空き容量：　100 MB 以上 メモリー：256 MB

※プリンターに接続され、A4用紙の印刷ができる環境

インストール

次の手順でソフトウェアをインストールしてください。

1. CD内の「うつスクリーニング質問票印刷」フォルダを開き、なかにある「うつスクリーニング質問票印刷 setup.exe」をダブルクリックします

補足１：環境によっては「.Net Framework3.5」のインストールを求められる場合があります。表示されるウィンドウのメッセージにしたがってインストールを行ってください。

補足２：管理者権限がないとインストールが実行できない場合があります。

2. うつスクリーニング質問票印刷セットアップ ウィザード

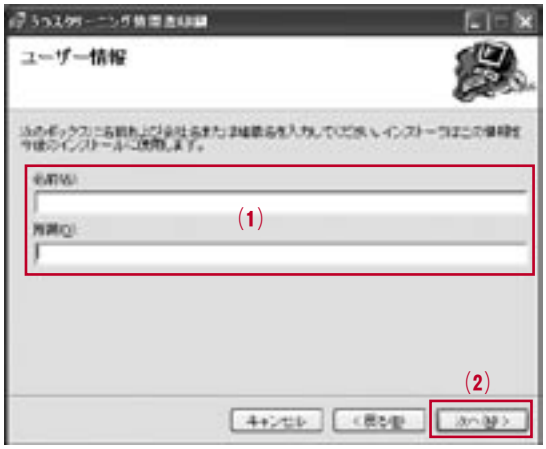
(1) 次へ をクリック

3. ライセンス条項

使用許諾契約書をお読みいただいた上で

(1) 同意するにチェック

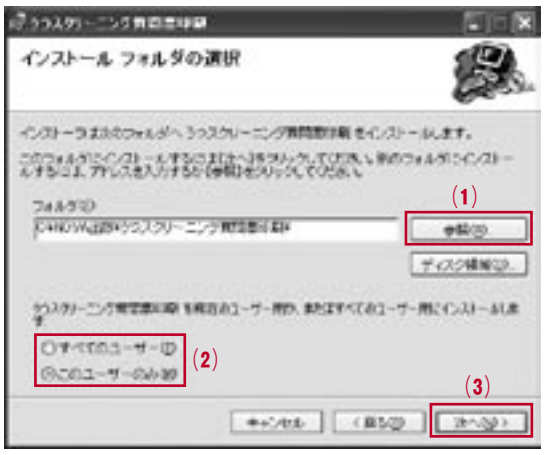
(2) 次へ をクリック



4. ユーザー情報

(1)「名前」「所属」を入力（任意）

(2) 次へ をクリック



5. インストール フォルダーの選択

(1) 変更する場合は、参照 をクリック

(2) 対象ユーザーを指定

お一人が同ソフトを管理する際は、「このユーザーのみ」をチェックしてください。それ以外は「すべてのユーザー」をチェックしてください。

(3) 次へ をクリック

補足：初期設定でのインストールする場所は C ドライブ直下の「NOVA 出版」フォルダー内、「うつスクリーニング質問票印刷」フォルダになっています。

---

6. インストールの確認

(1) 次へをクリック

7. インストールが完了しました

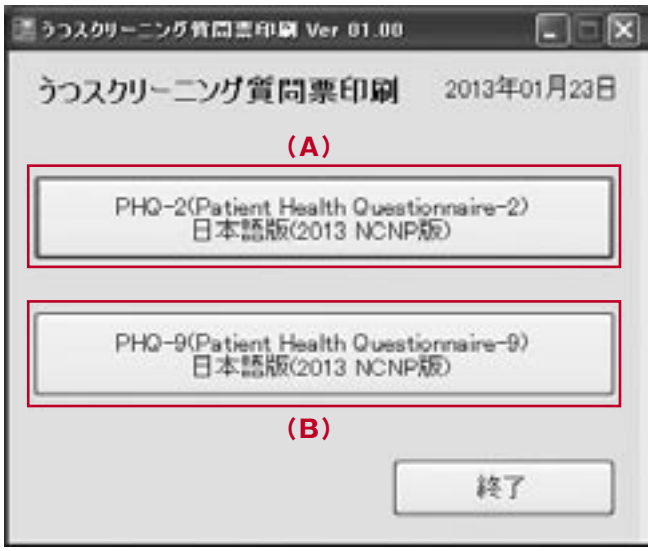
(1) 閉じるをクリック

ソフトウェアを起動する

1. デスクトップ上のアイコン「うつスクリーニング質問票印刷」をダブルクリック

補足：アイコンがみつからない際は、スタートメニューから、「すべてのプログラム」→「NOVA 出版」→「うつスクリーニング質問票印刷」の順に選択

印刷する



（A）PHQ-2 のみを印刷する場合に押してください

（B）PHQ-9 のみを印刷する場合に押してください

身体疾患患者精神的支援ストラテジー
単独版うつスクリーニング
うつスクリーニング質問票印刷
} 操作手順＆取扱説明書
著作者　NOVA 出版
発行者　NOVA 出版
発行年月　2013 年 4 月 30 日 第 1 版